

河川基盤地図ガイドライン（案） 第2.1版

平成13年12月

国土交通省河川局河川計画課

目 次

頁

I. 河川基盤地図作成要領

第1章	総 則	1
第2章	作業計画	6
第3章	計測元図作成	7
第4章	データの取得、編集	8
第5章	属性データ入力、構造化	9
第6章	データファイル作成	18
第7章	作業とりまとめ	19
第8章	データの更新	20

II. 河川基盤地図データ取得基準

第1章	総 則	21
第2章	河川図	22
第3章	流域図	25

III. 河川基盤地図データファイル仕様

第1章	総 則	28
第2章	各ファイルの構成と記載内容	29
第3章	属性データの入力フォーマット	41
第4章	各データのファイル名	47

Ⅰ．河川基盤地図作成要領

第1章 総 則

第1条（目 的）

本要領は、河川に関する地理情報システム（以下、「河川 GIS」という）を構築するために必要となる河川基盤地図の内容、構成等を定めるとともに、河川基盤地図データファイル作成の標準的な作業手順、作業方法等を定めることにより、成果品の規格を統一するとともに必要な精度を確保すること等を目的とする。

第2条（適 用）

本要領は、国土交通省地方整備局および北海道開発局の河川関係事務所（以下、「事務所」という）が作成する河川基盤地図に適用する。

2 河川基盤地図データファイルの作成を測量業者等（以下、「受注者」という）に委託し、または請け負わせ、当該受注者が委託または請負契約に基づき河川基盤地図データファイルを作成する場合は本要領の規定に従わなければならない。

3 その他、河川基盤地図の作成については、他の規程等に特別の定めがある場合を除き、本要領および国土交通省公共測量作業規程の定めるところによる。

第3条（河川基盤地図作成の単位）

河川基盤地図は、流域ごとに作成するものとする。ただし、同じ流域内の河川で上下流の担当事務所が異なる場合は、事務所ごとに担当する河川の流域について作成するものとする。

2 複数の事務所が分担して、同じ流域内の河川基盤地図を作成する場合（更新する場合も含む）は、河川管理区間の境界、流域界で不整合にならないよう、隣接する他の事務所と調整しなければならない。

第4条（定 義）

本要領において使用する用語の定義は、次の各項に定めるとおりとする。

- (1) 河川基盤地図とは、河川に関する基本および標準的な地理情報が記述されている地図であって、河川 GIS の地図として利用されるものをいう。
- (2) 河川基盤地図データファイル（以下、「データファイル」という）とは、河川基盤地図を作成するために必要なデータが格納されているファイル全てをひとまとめにしたものをいう。
- (3) 管理技術者とは、委託または請負契約書に基づき受注者が定める管理技術者またはこれに該当する技術者をいう。
- (4) 監督職員とは、委託または請負契約書に基づき発注者が定める監督職員またはこれに該当する職員をいう。
- (5) 出力図とは、数値化された地図データ（以下、「データ」という）を紙に図化したものをいう。
- (6) ベクタデータとは、二次元または三次元の座標値で表される点、線、面データをいう。
- (7) 点データとは、ひとつの座標値で表されるデータをいう。
- (8) 線データとは、一定の方向に連続した複数の点データで表されるデータをいう。
- (9) 面データとは、始点と終点が一致する連続したひとつまたは複数の線データで

表されるデータで、一番目の線の始点と最後の線の終点（ひとつの線の場合は線の始点と終点）が一致するものをいう。

- (10) メッシュとは、地表面を一定のルールに従い、多数の正方形、長方形、三角形、六角形などに分割したときの、それぞれの区画をいう。
- (11) ラスタデータとは、各メッシュごとに情報を持つデータをいう。
- (12) データ取得とは、デジタイザまたはスキャナにより既存の地図からデータを計測すること（以下、「マップデジタイズ」という）および既存のデジタル地図またはデジタルマッピングで得られたデータから直接データを利用することをいう。
- (13) デジタルマッピングとは、空中写真測量や電子計算機技術等を活用し、ベクタデータを得ることをいう。

第5条（河川基盤地図の構成）

河川基盤地図は、河川図（詳細地図）、流域図（概略地図）の2種類とし、その精度、対象範囲、対象区間、地図に記載されるデータの種類の種類はそれぞれ以下のとおりとする。

	種 類	精 度	対象範囲	対象区間	データの種類
河川基盤地図	河川図 (詳細地図)	1/2,500 レベル	河道および沿川 200～500m の 範囲	河川改修計画 が定められて いる河川区間	河川背景データ
					河川基図データ
					河川基本主題データ
	流域図 (概略地図)	1/25,000 レベル	流域全体	全法河川	流域背景データ
					流域基図データ
					流域基本主題データ

2 河川背景データ、流域背景データは、河川図、流域図の背景としてそれぞれ必要と考えられる最低限のデータとする。

3 河川基図データ、流域基図データは、河川に関して標準的に整備すべきデータおよび多用途に利用できる基礎的なデータとして、それぞれ河川図、流域図に必要と考えられるデータとする。

4 河川基本主題データ、流域基本主題データは、主題データ（河川に関する業務ごとに発生するデータをいう）のうち、河川に関し利用頻度が高いデータとして、それぞれ河川図、流域図に必要と考えられるデータとする。

第6条（データ項目）

河川基盤地図に必要なデータは、表示する際の最小単位であるレイヤーごとに作成するものとする。

2 河川図、流域図に必要なレイヤーは表－1 のとおりとする。

3 各レイヤーには、それぞれレイヤーを特定するため、図式分類コードを付与するものとする。

4 データ取得方法は、別に定める「河川基盤地図データ取得基準」による。

表－1 データ項目一覧

種類	データの 種類	大分類	中分類	小分類	レイヤー	図式分類 コード
河川図	河川背景 データ	背景データ	標高	等高線	等高線	L5301
				標高点	標高点	P5301
			地形	斜面	斜面線	L5302
					斜面	A5301
				人造物	人造物線	L5303
					人造物	A5302
			道路等	道路	道路	L5304
				庭園路	庭園路	L5305
				徒歩道	徒歩道	L5306
			鉄道等	鉄道	鉄道	L5307
			建物	普通建物	普通建物線	L5308
					普通建物	A5303
				堅ろう建物	堅ろう建物線	L5309
					堅ろう建物	A5304
			無壁舎		無壁舎線	L5310
					無壁舎	A5305
			地目	地目境界	地目境界線	L5311
				地目記号	地目記号	P5302
			橋梁等	橋梁	橋梁	L5312
			水涯線等	水涯線等	水涯線	L5313
					水部	A5306
		行政界データ	行政界等	行政界等	行政界線	L5314
					行政界	A5307
	河川基図 データ	現況河道 データ	杭	距離標	距離標	P5501
				測線	測線	L5501
				低水路杭	低水路杭	P5502
			現況堤防法線	現況堤防表法肩法線	現況堤防表法肩法線	L5502
					現況河道	A5501
				現況堤防裏法肩法線	現況堤防裏法肩法線	L5503
				現況堤防表法尻法線	現況堤防表法尻法線	L5504
				現況堤防裏法尻法線	現況堤防裏法尻法線	L5505
			現況低水路法線	現況低水路法線	現況低水路法線	L5506
					現況低水路	A5502
			河心線等	河心線	河心線	L5507
		河川区域 データ	河川区域等	河川区域等	河川区域等境界線	L5508
					河川区域等	A5503
	河川基本 主題データ	水文観測 所データ	水文観測所	水位観測所	水位観測所	P5701
				流量観測所	流量観測所	P5702
				水質観測所	水質観測所	P5703

表-1 データ項目一覧

種類	データの 種類	大分類	中分類	小分類	レイヤー	図式分類 コード
河川 図	河川基本 主題デー タ	河道改修 データ	堤防防護ライン	堤防防護ライン	堤防防護ライン	L5701
					計画低水路放線	L5702
					計画低水路	A5701
			高水敷状況等	高水敷状況	高水敷状況境界線	L5703
					高水敷状況	A5702
			計画堤防法線	計画堤防表法肩法線	計画堤防表法肩法線	L5704
					計画河道	A5703
				計画堤防裏法肩法線	計画堤防裏法肩法線	L5705
				計画堤防表法尻法線	計画堤防表法尻法線	L5706
				計画堤防裏法尻法線	計画堤防裏法尻法線	L5707
		河川構造 物データ	河川構造物	護岸	護岸線	L5708
					護岸	A5704
				水制	水制線	L5709
					水制	A5705
				樋門・樋管	樋門・樋管線	L5710
					樋門・樋管	A5706
				水門・閘門	水門・閘門線	L5711
					水門・閘門	A5707
				堰	堰線	L5712
					堰	A5708
				機場	機場線	L5713
					機場	A5709
				伏せ越し	伏せ越し線	L5714
					伏せ越し	A5710
				床止め	床止め線	L5715
					床止め	A5711
				救急内水ポンプ	救急内水ポンプ線	L5716
					救急内水ポンプ	A5712
		縦横断デ ータ	縦横断	現況縦横断	現況縦横断	L5717
				計画縦横断	計画縦横断	L5718

表-1 データ項目一覧

種類	データの 種類	大分類	中分類	小分類	レイヤー	図式分類 コード
流域図	流域背景 データ	背景データ	標高	等高線	等高線	L5408
				標高点	標高点	P5402
		行政界データ	行政界	行政界	行政界線	L5401
					行政界	A5401
		流域データ	海岸線	海岸線	海岸線	L5402
				湖沼	湖沼区域境界線	L5403
					湖沼区域	A5402
		土木施設 データ	道路	道路	道路	L5404
				鉄道	鉄道	L5409
				用排水路等	下水道幹線管路	L5405
		公共施設 データ	主な公共施設	用排水路	用排水路	L5406
				公共建物	公共建物	P5401
				公共空間	公共空間線	L5407
					公共空間	A5403
	流域基図 データ	現況河道 データ	杭	距離標	距離標	P5501
				測線	測線	L5501
			現況堤防	現況堤防法線	現況堤防法線	L5601
					現況河道	A5601
		河心線	河心線	河心線	河心線	L5602
				流域界線	流域界線	L5603
		流域データ	流域界	流域界	流域界	A5602
				ダム位置	ダム位置	P5601
		土木施設 データ	ダム	ダム湛水域	ダム湛水域境界線	L5604
				ダム湛水域	ダム湛水域	A5603
		事務所・ 出張所データ	事務所・出張所	事務所	事務所	P5602
				出張所	出張所	P5603
	流域基本 主題データ	水文観測 所データ	水文観測所	雨量観測所	雨量観測所	P5801
				水位観測所	水位観測所	P5802
				流量観測所	流量観測所	P5803
				水質観測所	水質観測所	P5804
		流域施設 データ	貯留・浸透施設	貯留・浸透施設	貯留・浸透施設線	L5801
					貯留・浸透施設	A5801
		水防情報 データ	重要水防箇所	重要水防箇所	重要水防箇所	L5802
				実績氾濫区域	実績氾濫区域境界線	L5803
			想定氾濫区域	実績氾濫区域	実績氾濫区域	A5802
				想定氾濫区域	想定氾濫区域境界線	L5804
				想定氾濫区域	想定氾濫区域	A5803
				想定氾濫区域メッシュ		M5801
		砂防情報 データ	砂防区域	砂防区域	直轄砂防区域境界線	L5805
					直轄砂防区域	A5804
		環境データ	空間ゾーン	空間ゾーン	空間ゾーン境界線	L5806
					空間ゾーン	A5805

注) キロ杭、側線は河川図のデータをそのまま利用する。

第2章 作業計画

第7条（作業工程）

データファイル作成の作業工程は、原則として次の各号のとおりとする。

- (1) 作業計画立案・準備
- (2) 背景データの取得
- (3) 計測元図作成
- (4) 基図データ、基本主題データの取得、編集
- (5) 属性データ入力、構造化
- (6) データファイル作成
- (7) 作業とりまとめ

2 管理技術者は、作業工程全般にわたり、適切な工程管理を行わなければならない。

3 管理技術者は、作業能率を向上させ、かつ必要な精度を確保することができると認められる場合は、監督職員の承認を得て、本要領で定められた作業手順、作業方法および作業工程を変更することができる。

第8条（作業計画）

データファイルの作成にあたっては、管理技術者はあらかじめ全作業工程にわたる作業計画を立案し、監督職員の承認を受けるとともに、作業に必要な資料、物品、器材等を準備しなければならない。

第9条（精度管理）

管理技術者は、適切な精度管理を行うため、各工程の中間および終了時においては所要の点検を行わなければならない。

2 精度管理の結果は、記録しなければならない。

3 精度管理等の結果、不相当と認められた事項については、管理技術者は監督職員に連絡するとともに速やかに是正措置を講じなければならない。

第3章 計測元図作成

第10条（計測元図作成）

河川図、流域図に必要なベクタデータを取得するため、それぞれの地図に対応した計測元図を作成するものとする。

2 計測元図は、河川背景データ、流域背景データの出力図にそれぞれ河川基図データおよび河川基本主題データ、流域基図データおよび流域基本主題データを記入することにより作成するものとする。

第11条（計測元図の精度）

計測元図の縮尺は、河川図、流域図と同等以上とする。その際、マップデジタイズによりデータを取得する場合で精度が確保される場合は、監督職員の承認を得て既存の地図を拡大したものを利用することができる。

2 各データは同じ計測元図内および隣接する計測元図間で不整合にならないようにするものとする。どうしても不整合が生じる場合は、監督職員の指示を受けるものとする。

第12条（デジタイザ計測）

デジタイザによる計測作業においては、地図の図葉内の図形の計測を行う前後で図葉四隅の計測を行うものとする。その際、図葉四隅の座標の計測値の較差が図上で0.3mmを超える場合は、当該地図を再計測するものとする。

第13条（スキャナ計測）

スキャナによる計測作業においては、計測したベクタデータをディスプレイ上に表示し、図形の復元状況を点検し、図形の脱落または変形がある場合は、当該地図を再計測するものとする。

2 ラスタデータからベクタデータへの変換は、利用した既存の地図に忠実なベクタデータを得ることができる適切な方法で行うものとする。

第14条（デジタルマッピング）

デジタルマッピング作業においては、地物の平面位置および標高の精度の点検を行い、所定の精度が得られない場合は、再処理を行うものとする。

第4章 データの取得、編集

第15条（データの取得、編集）

データファイルを作成するために必要なベクタデータの取得は、計測元図からデジタル計測またはスキャナ計測を行うか、既存のデジタル地図のベクタデータを利用して行うものとする（想定氾濫区域メッシュデータを除く）。

2 第1項においてデータを取得する場合は、他のデータと不整合にならないようにするものとする。どうしても不整合が生じる場合には、管理技術者は監督職員の指示を受けるものとする。

3 取得されたベクタデータは、標準地域メッシュの二次メッシュの図葉四隅を基準とする正規化座標に変換するものとする。正規化座標は、図葉左下を（0.00, 0.00）、右上を（10,000.00, 10,000.00）、右下を（10,000.00, 0.00）、左上を（0.00, 10,000.00）とする。

第5章 属性データ入力、構造化

第16条（属性データ入力）

データごとに、表-2 に定める属性フィールド内へ表-3 に定める属性コード等の属性データを入力する。

第17条（構造化）

取得したベクタデータについては、以下の構造化を行うものとする。

- (1) ネットワークを形成している線に関するデータの始点と終点を定める。
- (2) 必要な線に関するデータを組み合わせ面データとする（以下、「ポリゴン化する」という）。

表-2 属性フィールドに入力する属性データ

	空間領域	分類	レイヤー名	図式分類コード	属性フィールド1	属性フィールド2	属性フィールド3	属性フィールド4	属性フィールド5	属性フィールド6	属性フィールド7	属性フィールド8	属性フィールド9
河川図	河川背景データ	標高	等高線	L5301	等高線標高								
			標高点	P5301	地点標高								
		地形	斜面線	L5302	斜面線種別コード (1)								
			斜面	A5301	斜面種別コード (2)								
			人造物線	L5303	人造物コード (3)								
			人造物	A5302	人造物コード (3)								
		道路等	道路	L5304	なし								
			庭園路	L5305	なし								
			歩道	L5306	なし								
		鉄道等	鉄道	L5307	名称	鉄道種別コード (4)							
		建物	普通建物線	L5308	なし								
			普通建物	A5303	なし								
			堅ろう建物線	L5309	なし								
			堅ろう建物	A5304	なし								
			無壁舎線	L5310	なし								
			無壁舎	A5305	なし								
		地目	地目境界線	L5311	なし								
			地目記号	P5302	地目コード (5)								
		橋梁	橋梁	L5312	名称	橋梁種別コード (6)	河川コード (7)						
		水涯線	水涯線	L5313	水部領域コード (8)	左右岸コード (9)	河川コード (7)						
			水部	A5306	河川コード (7)								
		行政界	行政界線	L5314	行政界線コード (10)								
			行政界	A5307	市町村コード (11)								
河川基図データ	河川基図データ	杭	距離標	P5501	名称	左右岸コード (9)	追加距離	河川コード (7)					
			測線	L5501	名称	追加距離	河川コード (7)						
			低水路杭	P5502	名称	左右岸コード (9)	追加距離	河川コード (7)					
		現況堤防法線	現況堤防表法肩法線	L5502	堤防種別コード (12)	堤防構造コード (13)	河道側領域コード (8)	左右岸コード (9)	河川コード (7)				
			現況河道	A5501	河川コード (7)								
			現況堤防裏法肩法線	L5503	堤防種別コード (12)	堤防構造コード (13)	河道側領域コード (8)	左右岸コード (9)	河川コード (7)				
			現況堤防表法尻法線	L5504	堤防種別コード (12)	堤防構造コード (13)	河道側領域コード (8)	左右岸コード (9)	河川コード (7)				
			現況堤防裏法尻法線	L5505	堤防種別コード (12)	堤防構造コード (13)	河道側領域コード (8)	左右岸コード (9)	河川コード (7)				
		現況低水路法線	現況低水路法線	L5506	低水路側領域コード (8)	左右岸コード (9)	河川コード (7)						
			現況低水路	A5502	河川コード (7)								
		河心線	河心線	L5507	流下方向指示コード (14)	下流端コード (15)	上流端コード (15)	河川コード (7)					
		河川区域等	河川区域等境界線	L5508	左右岸コード (8)	河川コード (7)							
			河川区域等	A5503	河川区域コード (16)	河川コード (7)							

表-2 属性フィールドに入力する属性データ

	空間 領域	分類	レイヤー名	図式分類 コード	属性フィ ールド1	属性フィ ールド2	属性フィ ールド3	属性フィ ールド4	属性フィ ールド5	属性フィ ールド6	属性フィ ールド7	属性フィ ールド8	属性フィ ールド9
河川図	河川基本主題データ	水文観測所	水位観測所	P5701	名称	観測所コード(17)	左右岸コード(9)	追加距離	観測種別コード(18)	管理所管コード(19)	設置年月日	河川コード(7)	
			流量観測所	P5702	名称	観測所コード(17)	左右岸コード(9)	追加距離	観測種別コード(18)	管理所管コード(19)	設置年月日	河川コード(7)	
			水質観測所	P5703	名称	観測所コード(17)	左右岸コード(9)	追加距離	観測種別コード(18)	管理所管コード(19)	設置年月日	河川コード(7)	
		堤防防護ライン	堤防防護ライン	L5701	堤防防護ラインコード(20)	低水路側領域コード(8)	左右岸コード(9)	河川コード(7)					
			計画低水路法線	L5702	低水路側領域コード(8)	左右岸コード(9)	河川コード(7)						
			計画低水路	A5701	河川コード(7)								
		高水敷状況	高水敷状況境界線	L5703	左右岸コード(9)	河川コード(7)							
			高水敷状況	A5702	高水敷コード(21)	左右岸コード(9)	河川コード(7)						
		計画堤防法線	計画堤防表法肩法線	L5704	堤防種別コード(12)	堤防構造コード(13)	河道側領域コード(8)	左右岸コード(9)	河川コード(7)				
			計画河道	A5703	河川コード(7)								
			計画堤防裏法肩法線	L5705	堤防種別コード(12)	堤防構造コード(13)	河道側領域コード(8)	左右岸コード(9)	河川コード(7)				
			計画堤防表法尻法線	L5706	堤防種別コード(12)	堤防構造コード(13)	河道側領域コード(8)	左右岸コード(9)	河川コード(7)				
			計画堤防裏法尻法線	L5707	堤防種別コード(12)	堤防構造コード(13)	河道側領域コード(8)	左右岸コード(9)	河川コード(7)				
		河川構造物	護岸線	L5708	なし								
			護岸	A5704	施設名	管理所管	目的	完成年月	護岸構造コード(22)	護岸種別コード1(23)	護岸種別コード2(24)	左右岸コード(9)	河川コード(7)
			水制線	L5709	なし								
			水制	A5705	施設名	管理所管	目的	完成年月	水制種別コード(25)	左右岸コード(9)	河川コード(7)		
			樋門・樋管線	L5710	なし								
			樋門・樋管	A5706	施設名	追加距離	管理所管	目的	完成年月	左右岸コード(9)	河川コード(7)		
			水門・閘門線	L5711	なし								
			水門・閘門	A5707	施設名	追加距離	管理所管	目的	完成年月	左右岸コード(9)	河川コード(7)		
			堰線	L5712	なし								
			堰	A5708	施設名	追加距離	管理所管	目的	完成年月	河川コード(7)			
			機場線	L5713	なし								
			機場	A5709	施設名	追加距離	管理所管	目的	完成年月	河川コード(7)			
			伏せ越し線	L5714	なし								
			伏せ越し	A5710	施設名	追加距離	管理所管	目的	完成年月	河川コード(7)			
			床止め線	L5715	なし								
			床止め	A5711	施設名	追加距離	管理所管	目的	完成年月	河川コード(7)			
			救急内水ポンプ線	L5716	なし								
			救急内水ポンプ	A5712	施設名	追加距離	管理所管	目的	完成年月	河川コード(7)			
		縦横断	現況縦横断	L5717	距離標	区間距離	最深河床高	平均河床高	現況左岸堤防高	現況右岸堤防高	測量年月日	河川コード(7)	
			計画縦横断	L5718	距離標	区間距離	平均低水路河床高	H.W.L.	計画左岸堤防高	計画右岸堤防高	計画高水流量	河川コード(7)	

表-2 属性フィールドに入力する属性データ

	空間領域	分類	レイヤー名	図式分類コード	属性フィールド1	属性フィールド2	属性フィールド3	属性フィールド4	属性フィールド5	属性フィールド6	属性フィールド7	属性フィールド8	属性フィールド9
流域図	流域背景データ	標高	等高線	L5408	等高線標高								
			標高点	P5402	地点標高								
		行政界	行政界線	L5401	行政界線コード (10)								
			行政界	A5401	市町村コード (11)								
		海岸線	海岸線	L5402	海側領域コード (8)								
		湖沼	湖沼区域境界線	L5403	河川コード (7)	水部領域コード (8)							
			湖沼区域	A5402	名称	河川コード (7)							
		道路等	道 路	L5404	路線名	道路種別コード (26)							
		鉄道等	鉄道	L5409	名称	鉄道種別コード (4)							
		用排水路等	下水道幹線管路	L5405	幹線名	管渠種別コード (27)	管理者名						
			用排水路	L5406	名称	用排水種別コード (28)	管理者名						
		主な公共施設	公共建物	P5401	名称	公共建物コード (30)							
			公共空間線	L5407	なし								
			公共空間	A5403	名称	公共空間コード (29)							
	流域基図データ	杭	距離標	P5501	河川基図データの「距離標」と同じ								
			測線	L5501	河川基図データの「測線」と同じ								
		現況堤防	現況堤防法線	L5601	堤防種別コード (12)	堤防構造コード (13)	河道側領域コード (8)	左右岸コード (9)	河川コード (7)				
			現況河道	A5601	河川コード (7)								
		河心線	河心線	L5602	流下方向指示コード (14)	下流端コード (15)	上流端コード (15)	河川コード (7)					
		流域界	流域界線	L5603	なし								
			流域界	A5602	河川コード (7)								
		ダム	ダム位置	P5601	名称	ダム所管コード (31)	河川コード (7)	目的					
			ダム湛水域境界線	L5604	河川コード (7)	水部領域コード (8)							
			ダム湛水域	A5603	名称	河川コード (7)							
		事務所・出張所	事務所	P5602	名称	住所							
			出張所	P5603	名称	住所							

表-2 属性フィールドに入力する属性データ

	空間領域	分類	レイヤー名	図式分類コード	属性フィールド1	属性フィールド2	属性フィールド3	属性フィールド4	属性フィールド5	属性フィールド6	属性フィールド7	属性フィールド8	属性フィールド9
流域図	流域基本主題データ	水文観測所	雨量観測所	P5801	名称	観測所コード (17)	観測種別コード (18)	住所	管理所コード (19)	設置年月日			
			水位観測所	P5802	名称	観測所コード (17)	左右岸コード (9)	追加距離	観測種別コード (18)	管理所コード (19)	設置年月日	河川コード (7)	
			流量観測所	P5803	名称	観測所コード (17)	左右岸コード (9)	追加距離	観測種別コード (18)	管理所コード (19)	設置年月日	河川コード (7)	
			水質観測所	P5804	名称	観測所コード (17)	左右岸コード (9)	追加距離	観測種別コード (18)	管理所コード (19)	設置年月日	河川コード (7)	
		貯留・浸透施設	貯留・浸透施設線	L5801	なし								
			貯留・浸透施設	A5801	名称	貯留・浸透種別コード (32)	能力	所管					
		重要水防箇所	重要水防箇所	L5802	評定種別コード (33)	重要度コード (34)	左右岸コード (9)	下流側追加距離	上流側追加距離	調査年月			
		実績氾濫区域	実績氾濫区域境界線	L5803	洪水名	河川コード (7)							
			実績氾濫区域	A5802	洪水名	河川コード (7)							
		想定氾濫区域	想定氾濫区域境界線	L5804	氾濫条件	河川コード (7)							
			想定氾濫区域	A5803	氾濫条件	河川コード (7)							
			想定氾濫区域メッシュ	M5801	湛水深	メッシュ番号	氾濫条件	河川コード (7)					
		砂防区域	直轄砂防区域境界線	L5805	河川コード (7)	砂防区域コード (8)							
			直轄砂防区域	A5804	山系名称	河川コード (7)							
		空間ゾーン	空間ゾーン境界線	L5806	左右岸コード (9)	河川コード (7)							
			空間ゾーン	A5805	空間ゾーンコード (35)	左右岸コード (9)	河川コード (7)						

表-3 属性フィールドに入力する属性コード

コード名称		属性コード
(1)	斜面線種別コード	0：不明
		1：上側斜面線
		2：下側斜面線
		99：その他
(2)	斜面種別コード	0：不明
		1：人工斜面
		2：土堤等
		3：コンクリート被覆
		4：ブロック被覆
		5：石積被覆
		6：垂直段差（人工）
		7：垂直段差（自然）
		99：その他
(3)	人造物コード	0：不明
		1：栈橋（鉄、コンクリート）
		2：栈橋（木製、浮栈橋）
		3：防波堤
		4：渡船発着所
		5：ダム
		6：滝
		7：せき
		8：水門
		9：不透過水制
		10：透過水制
		11：敷石斜坂
		12：へい
		13：さく、生垣、土囲
		14：階段
		99：その他
(4)	鉄道種別コード	0：不明
		1：普通軌道
		2：路面軌道
		3：特殊軌道
		4：索道
		5：建設中の鉄道
		99：その他
(5)	地目コード	0：不明
		1：田
		2：畑
		3：さとうきび畑
		4：パイナップル畑
		5：桑畑
		6：茶畑
		7：果樹園
		8：その他の樹木畑
		9：芝地
		10：広葉樹林
		11：針葉樹林
		12：竹林
		13：荒地
		14：はい松地
		15：しの地
		16：やし科樹林
		17：湿地
		18：砂れき地
		99：その他
(6)	橋梁種別コード	0：不明
		1：道路橋
		2：鉄道橋
		3：歩橋
		4：水道橋
		99：その他

表-3 属性フィールドに入力する属性コード

	コード名称	属性コード
(7)	河川コード	河川現況調査に用いられているコードを使用 ○○○△△△××× ○○○ △△△ ××× 水系番号 一次支川等番号 二次以降支川等番号
(8)	水部領域コード 河道側領域コード 低水路領域コード 海側領域コード 砂防区域コード	0：不明 1：左側が領域内 2：右側が領域内
(9)	左右岸コード	0：不明 1：左岸 2：右岸 3：中州 99：その他
(10)	行政界線コード	0：不明 1：都道府県界線 2：市郡・特別区界線 3：町村・指定都市区界線 99：図葉境界
(11)	市町村コード	市町村要覧に準拠
(12)	堤防種別コード	0：不明 1：本堤 2：控堤 3：霞堤 4：背割堤 5：導流堤 6：輪中堤 7：無堤 8：山付け 9：霞堤の開口部 10：その他の切欠き部（構造物部分） 11：地下河川等 12：その他の開口部（支川合流点、派川分流点、河口） 99：その他（図郭境界線）
(13)	堤防構造コード	0：不明 1：土堤 2：特殊堤 99：その他
(14)	流下方向指示コード	0：不明 1：下流から上流に向かって入力 2：上流から下流に向かって入力
(15)	下流端コード 上流端コード	0：不明 1：河口 2：分流点 3：合流点 4：上流端 99：図郭の区切り
(16)	河川区域コード	0：不明 1：河川区域 2：河川保全区域
(17)	観測所コード	各種年表に準拠
(18)	観測種別コード	0：不明 1：自記（テレメータ） 2：自記（テレメータ以外） 3：普通 99：その他
(19)	管理所管コード	0：不明 1：国土交通省河川局 2：農林水産省 3：国土交通省気象庁 4：都道府県 5：市町村 6：電力 99：その他

表－3 属性フィールドに入力する属性コード

	コード名称	属性コード
(20)	堤防防護ラインコード	0：不明
		1：特 A
		2：ランク A
		3：ランク B
		4：ランク C
		5：開口部（支川合流点、派川分流点、河口）
		99：その他（図郭境界線）
(21)	高水敷コード	0：不明
		1：公園・緑地
		2：運動場
		3：農地
		4：採草放牧地
		5：林地
		6：道路
(22)	護岸構造コード	7：その他
		0：不明
		1：芝
		2：コンクリートブロック
		3：蛇かご
		4：植生
		99：その他
(23)	護岸種別コード 1	0：不明
		1：高水護岸
		2：低水護岸
		99：その他
(24)	護岸種別コード 2	0：不明
		1：通常護岸
		2：隠し護岸
		3：親水護岸（階段護岸、緩勾配護岸等）
		4：景観護岸（化粧護岸、自然石ブロック、緑化ブロック等）
		5：生態護岸（魚巢ブロック等）
		99：その他
(25)	水制種別コード	0：不明
		1：透過水制（杭打ち、牛類、枠类等）
		2：不透過水制（石出し、土出し、波床类等）
		3：半透過水制（コンクリートブロック、蛇かご等）
(26)	道路種別コード	デジタル道路地図協会のコードに準ずる
(27)	管渠種別コード	0：不明
		1：合流管
		2：雨水管
		3：污水管
		99：その他
(28)	用排水種別コード	0：不明
		1：用水路
		2：排水路
		3：兼用水路
		99：その他
(29)	公共空間コード	0：不明
		1：鉄道敷（線路敷を主体とし、駅舎も含む）
		2：都市公園（〇〇緑地として整備された箇所や動物園・植物園も含む）
		3：学校敷地
		4：神社・寺院の境内
		5：墓地
		99：その他（1～5 には該当しないが、場地として採用するべき広域を占有する区域）

表－３ 属性コード

	コード名称	属性コード
(30)	公共建物コード	0：不明
		1：郵便局
		2：警察署
		3：警察官駐在所・派出所
		4：消防署
		5：市・特別区・町・村・指定都市の区の役場、支所および出張所
		6：学校
		7：幼稚園・保育園
		8：公会堂・公民館
		9：博物館
		10：図書館
		11：美術館
		12：体育施設
		13：保健所
		14：病院
		15：駅舎
		16：揚排水ポンプ場
		17：浄水場
		18：下水処理場
		19：その他の官公署
		99：その他
(31)	ダム所管コード	1：国土交通省
		2：農林水産省
		3：都道府県
		4：市町村
		5：電力
		99：その他
(32)	貯留・浸透種別コード	0：不明
		1：貯留施設
		2：浸透施設
		99：その他
(33)	重要水防箇所評定種別コード	0：不明
		1：堤防高
		2：堤防断面
		3：堤防強度
		4：漏水
		5：水衝
		6：洗掘
		7：工事施工
		8：工作物
		10：堤防高・堤防断面
		11：堤防高・新堤
		12：堤防高・漏水
		13：堤防高・堤防断面・新堤
		14：堤防高・漏水・新堤
		15：堤防高・新堤・旧川跡
		16：堤防高・旧川跡
		17：堤防高・水衝・洗掘
		18：堤防高・堤防断面・漏水
		99：その他
(34)	重要度コード	0：不明
		1：A（水防上最も重要な区間）
		2：B（次に重要な区間）
		3：C（やや危険な区間）
(35)	空間ゾーンコード	0：不明
		1：整備ゾーン
		2：自然利用ゾーン
		3：自然保全ゾーン
		4：その他

第6章 データファイル作成

第18条（データファイル仕様）

データファイルは、それぞれ河川図、流域図ごとにまとめ、記憶媒体に記録する。

2 データファイルは、レイヤー管理ファイル、図葉記述ファイル、アークファイル、ポリゴンファイル、点ファイル、属性ファイル、ノードファイル、ネットワークファイル、メッシュファイルにより構成する。

3 レイヤー管理ファイル以外のファイルは、標準地域メッシュ二次メッシュごとにフォルダまたはディレクトリを作成し、その中にまとめて格納する。

4 データファイルは、別に定める「河川基盤地図データファイル仕様」に基づき作成する。

第19条（データファイルの点検）

作成したデータファイルからレイヤーごとに計測元図と同じ縮尺の出力図を作成し、計測元図等と比較対照することにより、データの誤り等を点検するものとする。

ただし、必要に応じ、管理技術者は監督職員の承認を得て、計測元図と異なる縮尺の出力図や複数のレイヤーをまとめた出力図を作成することができる。

2 プログラム等によりデータファイルフォーマットの点検を行うものとする。

第7章 作業とりまとめ

第20条（成果品）

管理技術者は、成果品の提出前に、データファイルに格納されているすべてのデータを対象に監督職員が指定する機関による検定を受けなければならない。

2 成果品は、次の各号のとおりとする。

- (1) データファイル
- (2) 精度管理表
- (3) 工程管理表
- (4) 計測元図
- (5) 出力図
- (6) 検定結果資料
- (7) その他の資料

第 8 章 データの更新

第 21 条（データの更新）

河川基盤地図のデータは適宜更新を行うものとする。

Ⅱ．河川基盤地図データ取得基準

第1章 総 則

1.1 取得方法

ベクタデータの取得は、マップデジタイズまたは既存のデジタル地図を利用して行う。これらによりがたい場合はデジタルマッピングを行う。

レイヤーの属性データはレイヤーの各データごとに入力する。

1.2 ポリゴン化

線データをポリゴン化して面データを作成する場合は、互いにリンクさせることとし、面データは座標データを持たないものとする（代表点を除く）。

第2章 河川図

2.1 河川背景データ

(1) 標 高

等高線および標高点は、それぞれ線データ、点データとして取得する。

(2) 地 形

地形は、斜面、人造物を線データとして取得する。また、斜面、人造物線をポリゴン化して斜面、人造物データを取得する。

(3) 道 路

道路は、道路、庭園路および歩道を線データとして取得する。

(4) 鉄 道

鉄道は、鉄道を線データとして取得する。

(5) 建 物

建物は、普通建物、堅ろう建物、無壁舎を面データとして取得する。

(6) 地 目

地目は、地目境界を線データ、地目記号を点データとして取得する。

(7) 橋 梁

橋梁は、線データとして取得する。

(8) 水涯線

水涯線は、線データもしくは面データとして取得する。

(9) 行政界

行政界は、行政界の境界線を線データとして取得する。また、行政界線をポリゴン化して行政界データを取得する。

2.2 河川基図データ

(1) 杭

杭は、河川の距離標および低水路杭を点データとして取得する。また、左右岸のキ口杭を結び、測線データを取得する。

(2) 現況堤防法線

現況堤防法線は、表法肩法線、裏法肩法線、表法尻法線、裏法尻法線をそれぞれ作成し、これらを線データとして取得する。また、左右岸の表法肩法線をポリゴン化して現況河道データを取得する。

(3) 現況低水路法線

現況低水路法線は、平面図、横断図等より低水路法線を作成し、これを線データとして取得する。また、左右岸の低水路法線をポリゴン化して現況低水路データを取得する。

(4) 河心線

河心線は、現況河道の中心となる線を作成し、これを線データとして取得する。

(5) 河川区域等

河川区域等は、河川区域および河川保全区域境界線（河川区域等境界線）を線データとして取得する。また、河川区域等境界線をポリゴン化して河川区域等データを取得する。

2.3 河川基本主題データ

(1) 水文観測所

水文観測所は、水位観測所、流量観測所、水質観測所を点データとして取得する。

(2) 堤防防護ライン

堤防防護ラインは、左右岸の堤防防護ラインを線データとして取得する。堤防防護ラインが確定していない場合は、計画低水路法線を線データとして取得する。また、計画低水路法線をポリゴン化して計画低水路データを取得する。

(3) 高水敷状況

高水敷状況は、高水敷状況境界線を線データとして取得する。また、高水敷状況境界線ポリゴン化して高水敷状況データを取得する。

(4) 計画堤防法線

計画堤防法線は、表法肩法線、裏法肩法線、表法尻法線、裏法尻法線をそれぞれ作成し、これらを線データとして取得する。また、左右岸の表法肩法線をポリゴン化して計画河道データを取得する。

(5) 河川構造物

河川構造物は、護岸、水制、樋門・樋管、水門・閘門、堰、機揚、伏せ越し、床止め、救急内水ポンプの外郭線を線データとして取得する。また、これらをポリゴン化して面データを取得する。

(6) 縦横断

縦横断は、河川基図データの測線データをそのまま利用する。

第3章 流域図

3.1 流域背景データ

(1) 標 高

等高線および標高点は、それぞれ線データ、点データとして取得する。

(2) 行政界

行政界は、行政界の境界線を線データとして取得する。また、行政界線をポリゴン化して行政界データを取得する。

(3) 海岸線

海岸線は、海岸線を線データとして取得する。

(4) 湖 沼

湖沼は、湖沼区域境界線を線データとして取得する。また、湖沼区域境界線をポリゴン化して湖沼区域データを取得する。

(5) 道 路

道路は、道路を線データとして取得する。

(6) 鉄 道

鉄道は、鉄道を線データとして取得する。

(7) 用排水路等

用排水路等は、下水道幹線管路および用排水路を線データとして取得する。

(8) 主な公共施設

主な公共施設は、公共建物を点データとして取得する。また、公共空間を面データとして取得する。

3.2 流域基図データ

(1) 杭

杭は、河川基図データの距離標および測線データを利用する。

(2) 現況堤防

現況堤防は、河川改修区間は、河川基図データの現況堤防表法肩法線データを利用する。それ以外の区間は、現況堤防法線を線データとして取得する。

(3) 河心線

河心線は、河川改修区間は河川基図データの河心線データを利用する。それ以外の区間は、流水の中心線を線データとして取得する。

(4) 流域界

流域界は、流域界線を線データとして取得する。また、流域界線をポリゴン化して流域界データを取得する。

(5) ダム

ダムは、ダムサイト位置を点データとして取得する。また、ダム湛水域境界線を線データとして取得する。さらに、ダム湛水域境界線をポリゴン化してダム湛水域データを取得する。

(6) 事務所・出張所

事務所・出張所は、国土交通省の事務所・出張所を点データとして取得する。

3.3 流域基本主題データ

(1) 水文観測所

水文観測所は、雨量観測所、水位観測所、流量観測所および水質観測所の位置を点データとして取得する。

(2) 貯留・浸透施設

貯留・浸透施設は、流域の貯留・浸透施設線を線データとして取得する。また、貯留・浸透施設線データをポリゴン化して貯留・浸透施設データを取得する。

(3) 重要水防箇所

重要水防箇所は、重要水防箇所を線データとして取得する。

(4) 実績氾濫区域

実績氾濫区域は、実績氾濫区域界線を線データとして取得する。また、実績氾濫区域界線をポリゴン化して実績氾濫区域データを取得する。

(5) 想定氾濫区域

想定氾濫区域は、想定氾濫区域界線を線データとして取得する。また、想定氾濫区域界線をポリゴン化して想定氾濫区域データを取得する。なお、想定氾濫区域がメッシュデータとして整理されている場合は、これをメッシュデータとして取得する。

(6) 砂防区域

砂防区域は、直轄砂防区域境界線を線データとして取得する。また、直轄砂防区域境界線をポリゴン化して直轄砂防区域データを取得する。

(7) 空間ゾーン

空間ゾーンは、河川空間管理計画の空間ゾーン境界線を線データとして取得する。また、空間ゾーン境界線をポリゴン化して空間ゾーンデータを取得する。

Ⅲ．河川基盤地図データファイル仕様

第1章 総 則

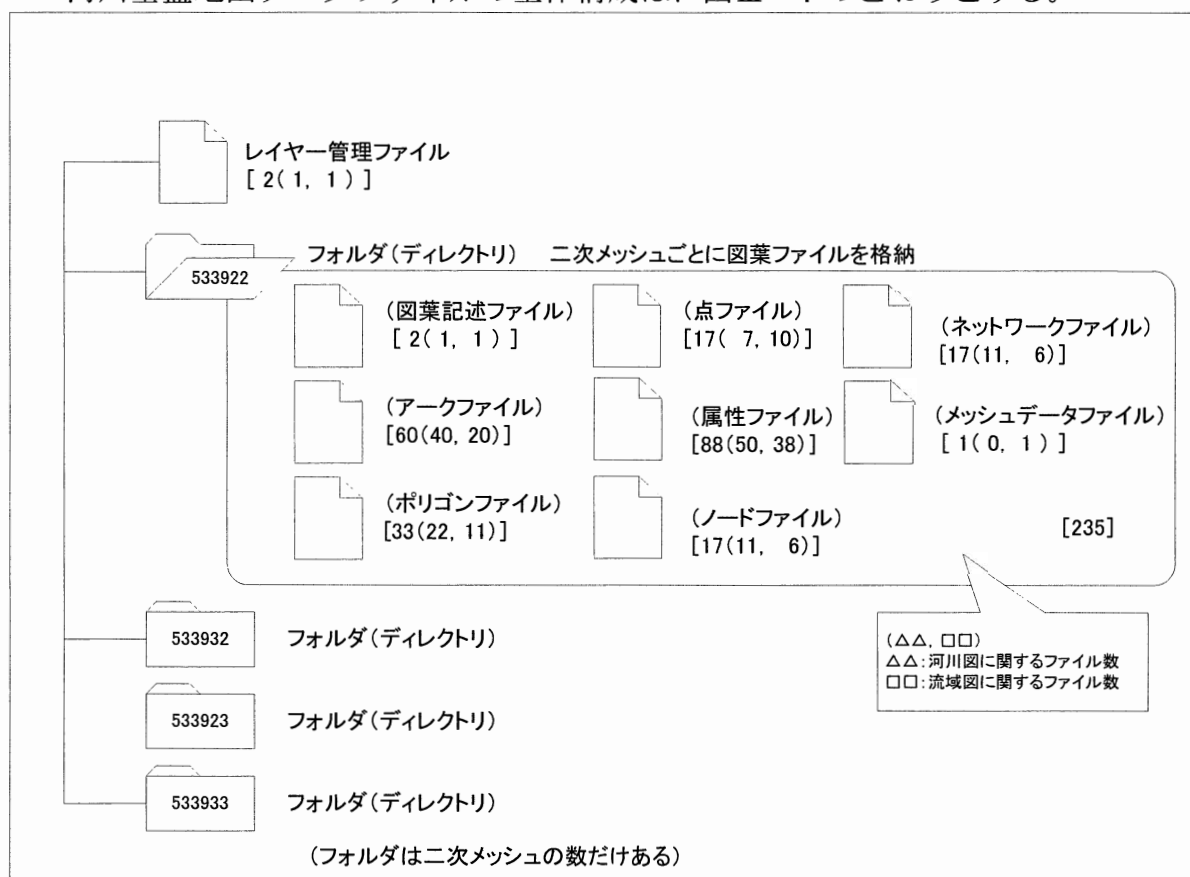
河川基盤地図データファイルは、レイヤー管理ファイル、図葉記述ファイル、アークファイル、ポリゴンファイル、点ファイル、属性ファイル、ノードファイル、ネットワークファイル、メッシュファイルにより構成する。

各ファイルの各レコードは、1 つ以上のカラムで構成することとし、カラムが複数ある場合には各カラム間をカンマで区切る。カラム長、レコード長は可変とし、各レコードの終わりには<CR><LF>コードを付す（復改する）。

文字コードはシフト JIS とする。

1) 河川基盤地図データファイルの全体構成

河川基盤地図データファイルの全体構成は、図Ⅲ－1 のとおりとする。



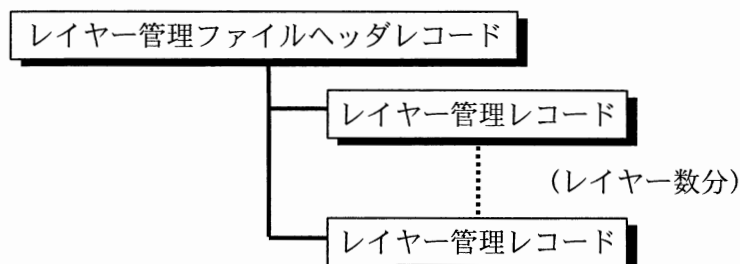
図Ⅲ－1 河川基盤地図データファイルの構成

第2章 各ファイルの構成と記載内容

2.1 レイヤー管理ファイル

レイヤー管理ファイルは、データファイルごとに作成する。

1) ファイルのレコード構成



2) 各レコードのカラムごとの記載内容

(1) レイヤー管理ファイルヘッダレコード

LH	ファイル名	レコード総数
----	-------	--------

- ① **LH**：レイヤー管理ファイルヘッダレコードであることを表す識別子。
“LH”の文字を記載。
- ② **レコード総数**：当該ファイルに含まれるレコードの総数。レイヤー管理ファイルヘッダーレコードを含めて数える。

(2) レイヤー管理レコード

図式分類コード	原図作成年次	原図作成者	原図管理者	原図の縮尺	データ作成年次	データ作成者	データ管理者	データの縮尺	備考
---------	--------	-------	-------	-------	---------	--------	--------	--------	----

- ① **図式分類コード**：河川基盤地図データファイル作成要領第6条第3項で定める図式分類コードを記載する。これは、それぞれIDレコードであることを表す記号（アーク：L、ポリゴン：A、点：P）の後に4桁のコードを付加したものである。
- ② **原図作成年次**：取得データの原図（データ作成のために主に利用した地図）の作成年月日。
- ③ **原図作成者**：取得データの原図の作成者および所管。
- ④ **原図管理者**：取得データの原図の管理者および所管。
- ⑤ **原図の縮尺**：取得データの原図の縮尺（1／〇で表記）。
- ⑥ **データ作成年次**：データ取得の作成年月日。
- ⑦ **データ作成者**：データ取得者および所管。
- ⑧ **データ管理者**：データ取得時管理者および所管。
- ⑨ **データの縮尺**：データ取得時の縮尺（1／〇で表記）。
- ⑩ **備考**：同一レイヤーで原図の条件およびデータ取得条件が異なる場合等に記述。カンマは使用不可。

2.2 図葉記述ファイル

図葉記述ファイルは、図葉ごとに当該図葉に関する各種の情報を記述する。

1) ファイルのレコード構成

図葉記述レコード

2) 各レコードのカラムごとの記載内容

(1) 図葉記述レコード

以下の順番で、①から⑨についてそれぞれ1レコードに記述する。ただし、⑩については1レコードに1ファイル名とする。

- ① 河川基盤地図データファイルであることの識別（全角入力）
- ② 計画機関名（全角入力）
- ③ データ作成年月（全角入力）
- ④ 原データに関する最新の図歴（全角入力）
- ⑤ 図名（半角入力）
- ⑥ 地図情報レベル（縮尺に相当する概念、河川図は 2500、流域図は 25000 とする。半角入力）
- ⑦ 準拠座標系、図葉の左下および右上座標〔準拠座標点は 19 座標系の場合は座標系番号、UTM 座標系の場合は経度帯番号を記述、座標は X（または横軸）、Y（または縦軸）の順に記述、半角入力〕
- ⑧ 座標数値の単位（全角入力）
- ⑨ 隣接 8 図名（北西側葉図から右回り、半角入力）
- ⑩ 図葉記述ファイルを含めて当該図葉に含まれるファイルすべての名称（半角入力）

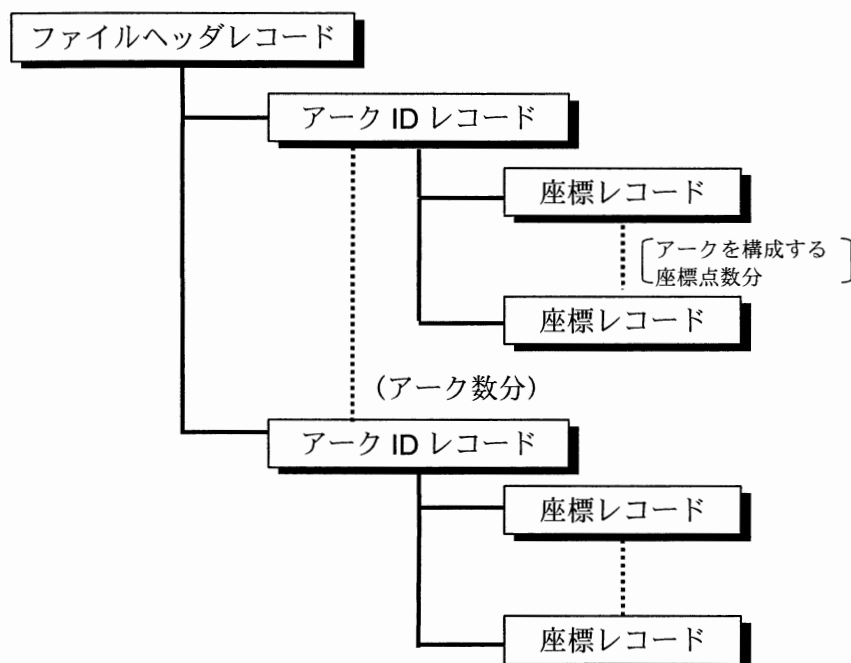
(2) 記入例

- ① 河川図は〇〇川基盤地図 2500、流域図は〇〇川基盤地図 25000
- ② 国土交通省〇〇地方整備局△△工事事務所
- ③ 〇〇〇〇年△△月
- ④ 〇〇〇〇年××月修正(複数ある場合は、主なものについて記入)
- ⑤ 523326
- ⑥ 25000
- ⑦ 9,-13500.0,24000.0,-12000.0,26000.0
- ⑧ メートル
- ⑨ 523335,523337,523327,523317,523316,523395,523325
- ⑩ a.txt
k-shase.arc
k-shase.arc
⋮

2.3 アークファイル

アークファイルはレイヤーごとに作成する。また、アーク ID レコードは各アークごとに作成する。

1) ファイルのレコード構成



2) 各レコードのカラムごとの記載内容

(1) ファイルヘッダーレコード

FH	図名	ファイル名	レコード総数	要素の総数	座標系フラグ	座標系番号	図郭左下 角の x 座標	図郭左下 角の y 座標	図郭右上 角の x 座標	図郭右上 角の y 座標
----	----	-------	--------	-------	--------	-------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------

- ① FH：ファイルヘッダーレコードであることを表す識別子。“FH”の文字を記載。
- ② 図名：二次メッシュコード（計 6 文字）。
- ③ ファイル名：当該ファイルの名称。
- ④ レコード総数：当該ファイルに含まれるレコードの総数。ファイルヘッダーレコードを含めて数える。
- ⑤ 要素の総数：当該ファイルに含まれる要素の総数。アーク ID レコードの総数と同じ。
- ⑥ 座標系フラグ：座標系を示すフラグ。河川基盤地図データは二次メッシュ単位の正規化座標であるので“2”を記入する。

座標系フラグ

座標系フラグ	意味
1	平面直角座標系
2	二次メッシュごとの正規化座標系

- ⑦ **座標系番号**：座標系フラグが“2”の場合、座標系は1種類に限定されるので、値“1”を入れる。

(2) アーク ID レコード

図式分類コード	線種タグ	個別番号	当該アークを構成する座標レコードの数
---------	------	------	--------------------

- ① **図式分類コード**：河川基盤地図データファイル作成要領第6条第3項で定める図式分類コードを記載する。これは、アーク ID レコードであることを表す“L”（Line）の後に、4桁のコードを付加したものである。
- ② **線種タグ**：通常のアークは“0”とし、道路等の高架、地下の区別、ポリゴンを閉じるために設定する不確実な界線（河口部の海岸線、未定行政界等）等を表現するために用いるタグとして、以下の表から該当するものを記入する。

線種タグ

線種タグ	意 味
0	実際に描画される通常のアークで、他の番号で指定される以外のもの
1	高架（道路線、鉄道等）
2	地下、トンネル部（道路線、鉄道等）
3	橋の下の水涯線、等高線等
4	未確定行政界、河口部の海岸線等ポリゴンを形成するために引かれるが表示されない線（注）
5	図郭にかかるポリゴンを閉じるための図郭辺の一部であるアーク
6	多重連結のポリゴンを表現するために外周と内周の間をつなぐアーク
7	道路の区域の境界線のうち、他の道路面の下を横断する部分のアーク

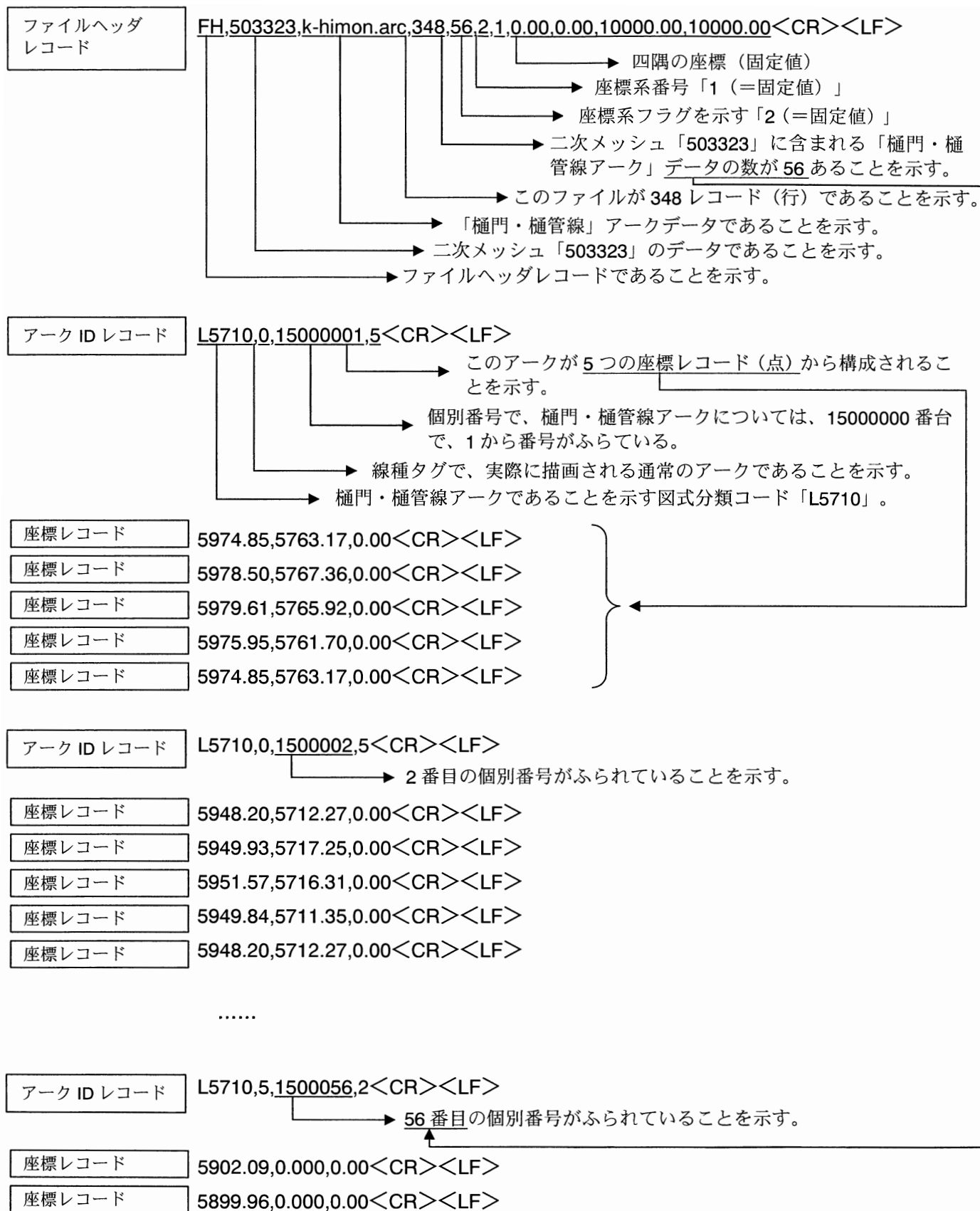
（注）ここで未確定行政界とは、未定あるいは係争中、表現上の誤差等で行政区域境界が不確実な場合のすべてを含む。

- ③ **個別番号**：二次メッシュ中の各アークを区別するための個別番号。1図葉内に含まれるすべてのアークについて、連番で一意的番号を割り当てる（8桁以内で、図式分類コードが異なっても同じ番号を割り当てない）。

(3) 座標レコード

X 座標	y 座標	z 座標
------	------	------

- ① x、y 座標は、すべて二次メッシュ左下角を(0.00,0.00)、右上角を(10,000.00, 10,000.00)とした正規化座標。
- ② 小数点付数字（小数点以下2桁）で表す。
- ③ z 座標は通常は空欄とし、高さ関係の解析が必要な場合等、必要に応じて取得する（メートル単位とし、小数点付数字で表す）。

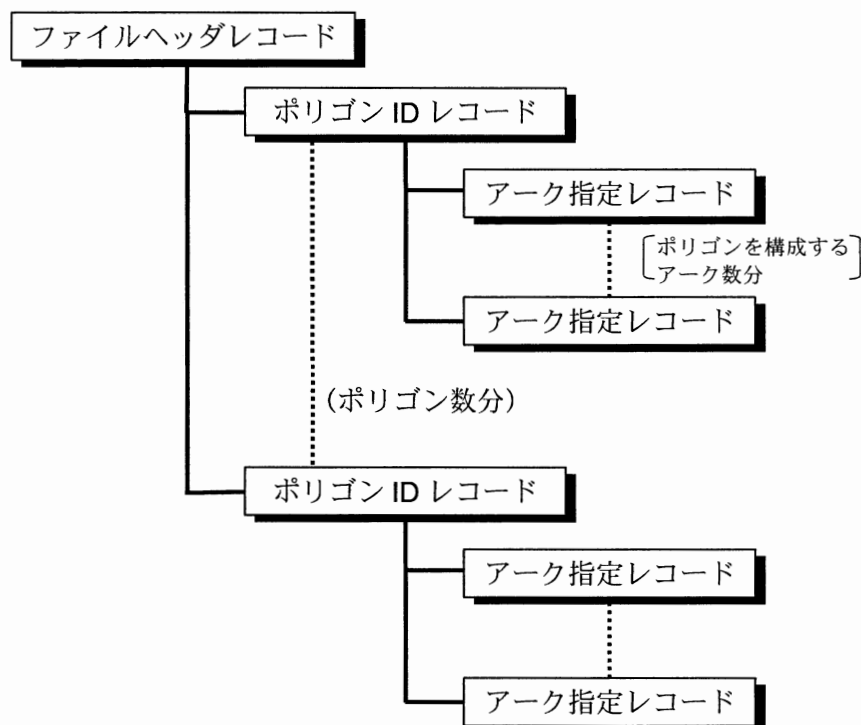


記入例：k-himon.arc（樋門・樋管線アーク）

2.4 ポリゴンファイル

ポリゴンファイルは、レイヤーごとに作成する。また、ポリゴン ID レコードは各ポリゴンごとに作成する。アーク指定レコードにはポリゴンを構成するアークの個別番号を記入する。

1) ファイルのレコード構成



2) 各レコードのカラムごとの記載内容

(1) ファイルヘッダレコード

「**2.4 アークファイル**」のファイルヘッダレコードにおける記載内容と同じ。
要素の総数は、ポリゴン ID レコードの総数と同じ。

(2) ポリゴン ID レコード

図式分類コード	個別番号	当該ポリゴンを構成する アーク指定レコードの数	代表点のx座標	代表点のy座標
---------	------	----------------------------	---------	---------

- ① **図式分類コード**：河川基盤地図データファイル作成要領第 6 条第 3 項で定める図式分類コードを記載する。これは、ポリゴン ID レコードであることを表す“A”（Area）の後に 4 桁のレコードを付加したものである。
- ② **個別番号**：二次メッシュ中の各ポリゴンを区別するための個別番号。1 図葉内に含まれるすべてのポリゴンについて、連番で一意的な番号を割り当てる（8 桁以内で、図式分類コードが異なっても同じ番号を割り当てない）。
- ③ **代表点の x、y 座標**：ポリゴン内に含まれる代表点の座標。x、y 座標は、二次メッシュ左下角を（0.00， 0.00）、右上角を（10,000.00， 10,000.00）と

した正規化座標。

(3) アーク指定レコード

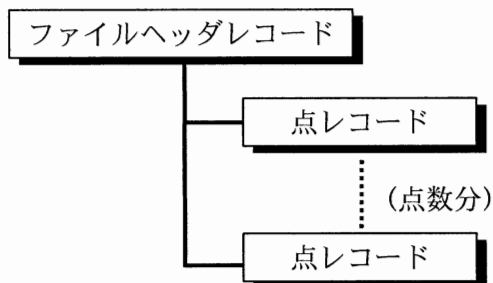
アークの個別番号

- ① ポリゴンを右回りに（当該ポリゴンを右に見て）連続して囲むようにアークを指定する。アークの指定には、アーク ID レコードに記述されている個別番号を用いる。アークの座標点列の向きが、右回りの逆の場合には個別番号にマイナスの符号を付ける。
- ② ポリゴン内部に当該ポリゴンに含まれない領域があるような多重連結構造を表す場合は、ポリゴンの内および外の境界線の間を結ぶ仮のアークを設置し、これを往復することで、一筆書きでこのようなポリゴンを表現する。

2.5 点ファイル

点ファイルは、レイヤーごとに作成する。

1) ファイルのレコード構成



2) 各レコードのカラムごとの記載内容

(1) ファイルヘッダレコード

「2.4 アークファイル」のファイルヘッダレコードにおける記載内容と同じ。
要素の総数は点レコードの総数と同じ。

(2) 点レコード

図式分類コード	個別番号	x 座標	y 座標	z 座標
---------	------	------	------	------

- ① 図式分類コード：河川基盤地図データファイル作成要領第 6 条第 3 項で定める図式分類コードを記載する。これは、点レコードであることを表す“P”（Point）の後に 4 桁のレコードを付加したものである。
- ② 個別番号：二次メッシュ中の各点を区別するための個別番号。1 図葉内に含まれているすべての点について、連番で一意的番号を割り当てる（8 桁以内で、図式分類コードが異なっても同じ番号を割り当てない）。
- ③ x、y 座標はすべて二次メッシュ左下角を（0.00,0.00）、右上角を（10,000.00,

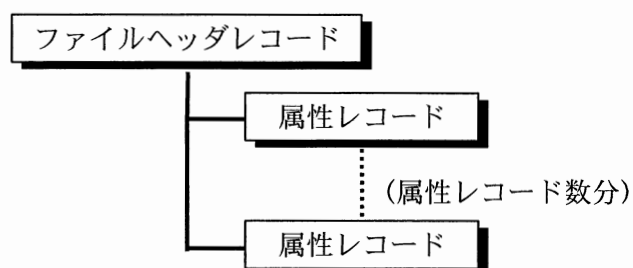
10,000.00) としての正規化座標。

- ④ z 座標は通常は空欄とし、高さ関係の解析が必要な場合等、必要に応じて取得する（メートル単位とし、小数点以下 2 桁で表す）。

2.6 属性ファイル

属性ファイルは、アークファイル、ポリゴンファイル、点ファイルの中で属性データを持つものについて、それぞれ各レイヤーごとに作成する。

1) ファイルのレコード構成



2) 各レコードのカラムごとの記載内容

(1) ファイルヘッダレコード

「2.4 アークファイル」のファイルヘッダレコードにおける記載内容と同じ。
要素の総数は属性レコードの総数と同じ。

(2) 属性レコード

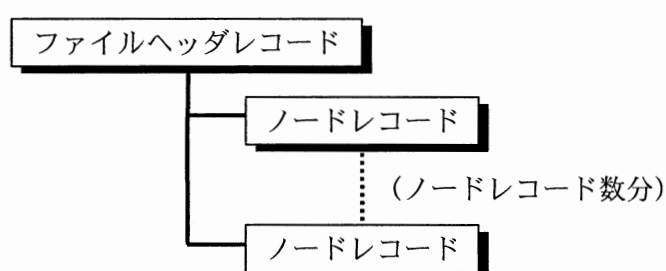
図式分類コード	個別番号	属性数	属性 1	属性 2	...	属性 n
---------	------	-----	------	------	-----	------

- ① 図式分類コードと個別番号で、対応する個別のデータを指定し、第三のカラムに属性数を記載する。第四カラム以降（属性フィールド）に、属性データを記述する。
- ② 属性数は属性を記述するフィールドの総数で、属性フィールドへの記載事項は任意とする。
- ③ 属性ファイルは、レイヤーごとに別ファイルとする。
- ④ 同一フィールド内では、半角文字と全角文字を混在させない。

2.7 ノードファイル

ノードファイルは、アークファイルのうち、河川基図データの「現況堤防表法肩法線」、「現況堤防裏法肩法線」、「現況堤防表法尻法線」、「現況堤防裏法尻法線」、「現況低水路法線」、「河心線」、河川基本主題データの「堤防防護ライン」、「計画堤防表法肩法線」、「計画堤防裏法肩法線」、「計画堤防表法尻法線」、「計画堤防裏法尻法線」、流域背景データの「道路」、「鉄道」、「下水道幹線管路」、「用排水路」、流域基図データの「現況堤防法線」、「河心線」に関するアークについて作成する。

1) ファイルのレコード構成



2) 各レコードのカラムごとの記載内容

(1) ファイルヘッダレコード

「2.4 アークファイル」のファイルヘッダレコードにおける記載内容と同じ。
要素の総数は、ノードレコードの総数と同じ。

(2) ノードレコード

ノード番号	図郭・端点タグ	ノードの x 座標	ノードの y 座標	ノードの z 座標
-------	---------	-----------	-----------	-----------

- ① ノード番号は 1 図葉内で一意の番号を割り当てる（8 桁以内）。
- ② 図郭・端点タグは、ノードが図葉の図郭内または図郭線上に位置する場合および端点（行き止まりとなるノードの終端の点）となる場合を示すもので、番号は以下に規定するものの中から記入する。

同一座標系内の図郭境界での接続・非接続関係を示す図郭・端点タグ

図郭・端点タグ	ノードの位置	図郭・端点タグ	ノードの位置
0	図郭内部（端点以外）	10	図郭内部の端点
1	図郭左上角（端点以外）	11	図郭左上角の端点
2	図郭上辺（端点以外）	12	図郭上辺の端点
3	図郭右上角（端点以外）	13	図郭右上角の端点
4	図郭右辺（端点以外）	14	図郭右辺の端点
5	図郭右下角（端点以外）	15	図郭右下角の端点
6	図郭下辺（端点以外）	16	図郭下辺の端点
7	図郭左下角（端点以外）	17	図郭左下角の端点
8	図郭左辺（端点以外）	18	図郭左辺の端点

座標系の境界での接続・非接続関係を示す図郭・端点タグ

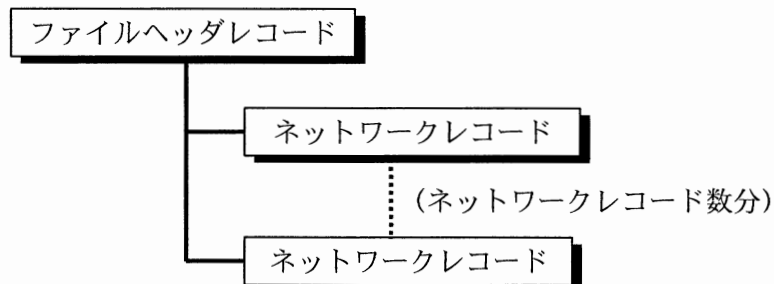
図郭・端点タグ	ノードの位置	図郭・端点タグ	ノードの位置
20	境界線(図郭線との交点以外) (端点以外)	30	境界線(図郭線との交点以外)の端点
21	境界線かつ図郭左上角 (端点以外)	31	境界線かつ図郭左上角の端点
22	境界線と図郭上辺の交点 (端点以外)	32	境界線と図郭上辺の交点の端点
23	境界線かつ図郭右上角 (端点以外)	33	境界線かつ図郭右上角の端点
24	境界線かつ図郭右辺の交点 (端点以外)	34	境界線と図郭右辺の交点の端点
25	境界線かつ図郭右下角 (端点以外)	35	境界線かつ図郭右下角の端点
26	境界線と図郭下辺の交点 (端点以外)	36	境界線と図郭下辺の交点の端点
27	境界線と図郭左下角 (端点以外)	37	境界線かつ図郭左下角の端点
28	境界線と図郭左辺の交点 (端点以外)	38	境界線と図郭左辺の交点の端点

- ③ z 座標は通常は空欄とし、高さ関係の解析が必要な場合等、必要に応じて取得する（メートル単位とし、小数点付数字で表す）。

2.8 ネットワークファイル

ネットワークファイルは、ノードをもつレイヤーごとにアークの始点、終点を記入する。

1) ファイルのレコード構成



2) 各レコードのカラムごとの記載内容

(1) ファイルヘッダレコード

「2.4 アークファイル」のファイルヘッダレコードにおける記載内容と同じ。
要素の総数は、ネットワークレコードの総数と同じ。

(2) ネットワークレコード

アークの個別番号	始点ノード番号	終点ノード番号
----------	---------	---------

- ① 道路は始点から終点に向かって記載する。それ以外は、下流から上流に向かって記載する（支川の場合は、合流点を始点とし、派川の場合は分流点を終点とする）。

2.9 メッシュファイル

メッシュファイルは、二次メッシュごとに作成する。

1) ファイルのレコード構成

メッシュファイルヘッダレコード

メッシュファイル属性レコード

(メッシュデータ数分)

メッシュファイル属性レコード

2) 各レコードのカラムごとの記載内容

(1) メッシュファイルヘッダーレコード

MH	図名	ファイル名	レコード総数	メッシュデータ種別	図郭左下 角の x 座標	図郭左下 角の y 座標	図郭左上 角の x 座標	図郭左上 角の y 座標	図郭右上 角の x 座標	図郭右上 角の y 座標	図郭右下 角の x 座標	図郭右下 角の y 座標
----	----	-------	--------	-----------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------

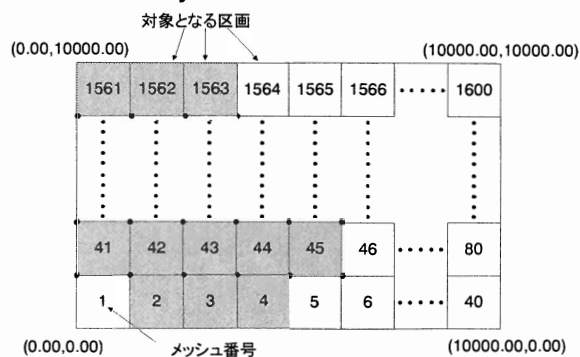
x 方向メ ッ シュ 分割数	y 方向メ ッ シュ分 割数	属 性 フィ ールドの 総数	属 性 フィ ールド 1 の属性名	属 性 フィ ールド 2 の属性名	...
----------------------	----------------------	----------------------	-------------------------	-------------------------	-----

- ① **MH**：メッシュデータファイルヘッダーレコードであることを表す識別子。
“MH”の文字を記載。
- ② **図名**：二次メッシュコード（計 6 文字）。
- ③ **ファイル名**：当該ファイルの名称。
- ④ **レコード総数**：当該ファイルに含まれるレコードの総数。メッシュファイルヘッダーレコードを含めて数える。
- ⑤ **メッシュデータ種別**：二次メッシュを単純分割している場合は“0”とする。
メッシュデータの四隅が二次メッシュと対応していない場合は“1”とし、
四隅の x、y 座標値を入力する。この際の座標値は緯度、経度で入力を行い、
秒の値は小数点付数字で表す。
- ⑥ **メッシュ分割数**：x 方向と y 方向のメッシュ分割数を入力する（整数値）。
- ⑦ **属性フィールドの総数**：属性フィールドの総数。
- ⑧ **属性フィールドの属性名**：属性フィールドの属性名および単位。

(2) メッシュファイル属性レコード

図式分類コード	メッシュ番号	属性 1	属性 2	...	属性 n
---------	--------	------	------	-----	------

- ① 図式分類コードとメッシュ番号で、個別のメッシュを指定し、第三フィールド以降に属性を記述する。
- ② メッシュ番号は下図のように、左下隅から 1、2、3…とし、右上隅が（x 方向メッシュ分割数）×（y 方向メッシュ分割数）となるようにする。



- ③ 同一フィールド内では、半角文字と全角文字を混在させない。

第3章 属性データの入力フォーマット

種別で F は実数、I は整数、N は文字、桁数は小数点以下の桁数、内容の [] は記入例

	レイヤー名	属性フィールド	単位	種別	桁数	内 容
河川背景データ	等高線	等高線標高	cm	F	1	デジタルマッピング取得分類基準に準拠
	標高点	地点標高	cm	F	1	デジタルマッピング取得分類基準に準拠
	斜面線	斜面線種別コード		I		
	斜面	斜面種別コード		I		
	人造物線	人造物コード		I		
	人造物	人造物コード		I		
	鉄道	名称		N		[〇〇電鉄]
		鉄道種別コード		I		
	地目記号	地目コード		I		
	橋梁	名称		N		[△△高速道路××橋梁]
		橋梁種別コード		I		橋梁種別コード
		河川コード		I		
	水涯線	水部領域コード		I		
		左右岸コード		I		
		河川コード		I		
	水部	河川コード		I		
	行政界線	行政界線コード		I		
	行政界	市町村コード		I		
	距離標	名称	km	F	2	[〇〇.〇]
		左右岸コード		I		
		追加距離	km	F	3	
		河川コード		I		
	測線	名称		F	2	[〇〇.〇]
		追加距離	km	F	3	
		河川コード		I		
	低水路杭	名称	km	F	2	
		左右岸コード		I		
		追加距離	km	F	3	
		河川コード		I		
	現況堤防表 法肩法線	堤防種別コード		I		
		堤防構造コード		I		
		河道側領域コード		I		
		左右岸コード		I		
		河川コード		I		
	現況河道	河川コード		I		
	現況堤防裏 法肩法線	堤防種別コード		I		
		堤防構造コード		I		
		河道側領域コード		I		
		左右岸コード		I		
		河川コード		I		
	現況堤防表 法尻法線	堤防種別コード		I		
		堤防構造コード		I		
		河道側領域コード		I		
		左右岸コード		I		
		河川コード		I		
	現況堤防裏 法尻法線	堤防種別コード		I		
		堤防構造コード		I		
		河道側領域コード		I		
		左右岸コード		I		
		河川コード		I		
	現況低水路 法線	低水路側領域コード		I		
		左右岸コード		I		
		河川コード		I		
	現況低水路	河川コード		I		
流下方向指示コード				I		

Ⅲ．河川基盤地図データファイル仕様

第1章 総 則

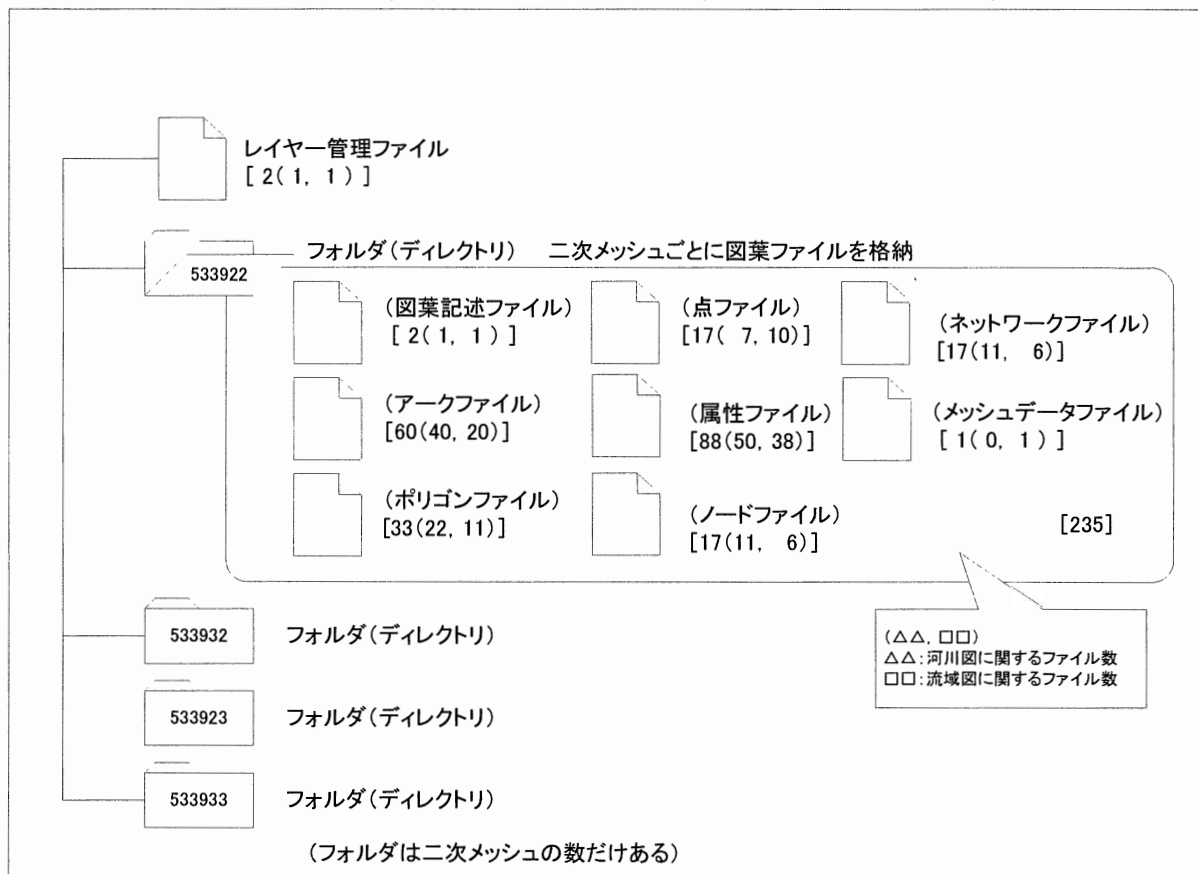
河川基盤地図データファイルは、レイヤー管理ファイル、図葉記述ファイル、アークファイル、ポリゴンファイル、点ファイル、属性ファイル、ノードファイル、ネットワークファイル、メッシュファイルにより構成する。

各ファイルの各レコードは、1 つ以上のカラムで構成することとし、カラムが複数ある場合には各カラム間をカンマで区切る。カラム長、レコード長は可変とし、各レコードの終わりには<CR><LF>コードを付す（復改する）。

文字コードはシフト JIS とする。

1) 河川基盤地図データファイルの全体構成

河川基盤地図データファイルの全体構成は、図Ⅲ－1 のとおりとする。



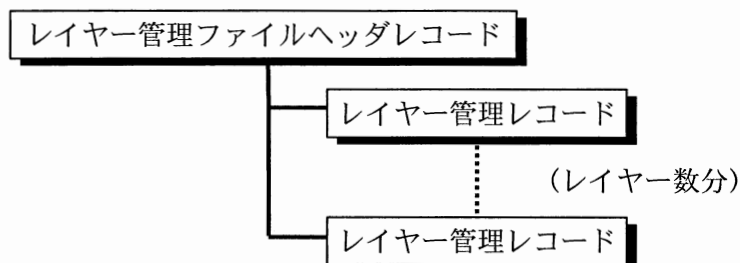
図Ⅲ－1 河川基盤地図データファイルの構成

第2章 各ファイルの構成と記載内容

2.1 レイヤー管理ファイル

レイヤー管理ファイルは、データファイルごとに作成する。

1) ファイルのレコード構成



2) 各レコードのカラムごとの記載内容

(1) レイヤー管理ファイルヘッダレコード

LH	ファイル名	レコード総数
----	-------	--------

- ① **LH**：レイヤー管理ファイルヘッダレコードであることを表す識別子。
“LH”の文字を記載。
- ② **レコード総数**：当該ファイルに含まれるレコードの総数。レイヤー管理ファイルヘッダーレコードを含めて数える。

(2) レイヤー管理レコード

図式分類 コード	原図作 成年次	原図 作成者	原図 管理者	原図の 縮尺	データ 作成年次	データ 作成者	データ 管理者	データ の縮尺	備考
-------------	------------	-----------	-----------	-----------	-------------	------------	------------	------------	----

- ① **図式分類コード**：河川基盤地図データファイル作成要領第6条第3項で定める図式分類コードを記載する。これは、それぞれIDレコードであることを表す記号（アーク：L、ポリゴン：A、点：P）の後に4桁のコードを付加したものである。
- ② **原図作成年次**：取得データの原図（データ作成のために主に利用した地図）の作成年月日。
- ③ **原図作成者**：取得データの原図の作成者および所管。
- ④ **原図管理者**：取得データの原図の管理者および所管。
- ⑤ **原図の縮尺**：取得データの原図の縮尺（1/○で表記）。
- ⑥ **データ作成年次**：データ取得の作成年月日。
- ⑦ **データ作成者**：データ取得者および所管。
- ⑧ **データ管理者**：データ取得時管理者および所管。
- ⑨ **データの縮尺**：データ取得時の縮尺（1/○で表記）。
- ⑩ **備考**：同一レイヤーで原図の条件およびデータ取得条件が異なる場合等に記述。カンマは使用不可。

2.2 図葉記述ファイル

図葉記述ファイルは、図葉ごとに当該図葉に関する各種の情報を記述する。

1) ファイルのレコード構成

図葉記述レコード

2) 各レコードのカラムごとの記載内容

(1) 図葉記述レコード

以下の順番で、①から⑨についてそれぞれ1レコードに記述する。ただし、⑩については1レコードに1ファイル名とする。

- ① 河川基盤地図データファイルであることの識別（全角入力）
- ② 計画機関名（全角入力）
- ③ データ作成年月（全角入力）
- ④ 原データに関する最新の図歴（全角入力）
- ⑤ 図名（半角入力）
- ⑥ 地図情報レベル（縮尺に相当する概念、河川図は 2500、流域図は 25000 とする。半角入力）
- ⑦ 準拠座標系、図葉の左下および右上座標〔準拠座標点は 19 座標系の場合は座標系番号、UTM 座標系の場合は経度帯番号を記述、座標は X（または横軸）、Y（または縦軸）の順に記述、半角入力〕
- ⑧ 座標数値の単位（全角入力）
- ⑨ 隣接 8 図名（北西側葉図から右回り、半角入力）
- ⑩ 図葉記述ファイルを含めて当該図葉に含まれるファイルすべての名称（半角入力）

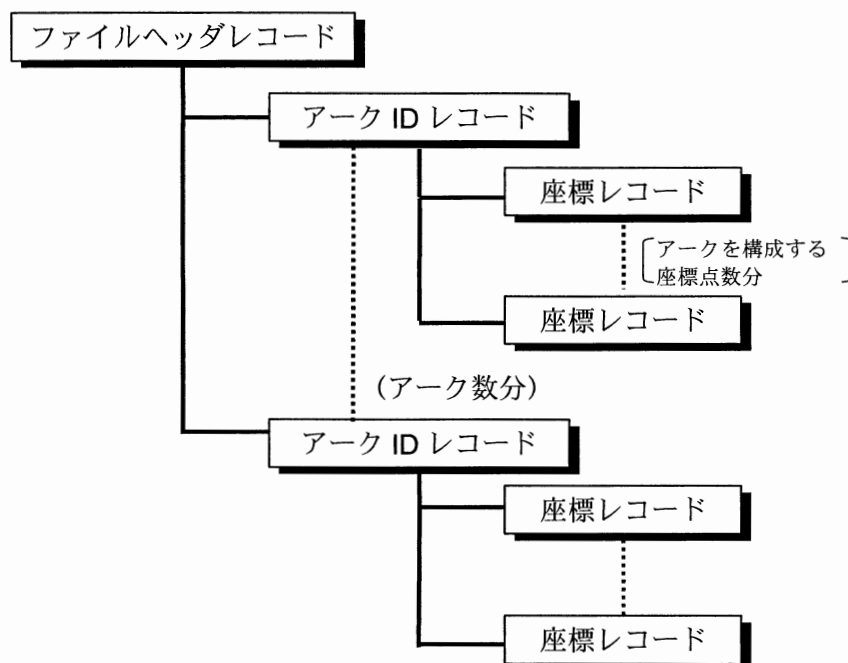
(2) 記入例

- ① 河川図は〇〇川基盤地図 2500、流域図は〇〇川基盤地図 25000
- ② 国土交通省〇〇地方整備局△△工事事務所
- ③ 〇〇〇〇年△△月
- ④ 〇〇〇〇年××月修正(複数ある場合は、主なものについて記入)
- ⑤ 523326
- ⑥ 25000
- ⑦ 9,-13500.0,24000.0,-12000.0,26000.0
- ⑧ メートル
- ⑨ 523335,523337,523327,523317,523316,523395,523325
- ⑩ a.txt
k-shase.arc
k-shase.arc
⋮

2.3 アークファイル

アークファイルはレイヤーごとに作成する。また、アーク ID レコードは各アークごとに作成する。

1) ファイルのレコード構成



2) 各レコードのカラムごとの記載内容

(1) ファイルヘッダーレコード

FH	図名	ファイル名	レコード総数	要素の総数	座標系フラグ	座標系番号	図郭左 下角の x 座標	図郭左 下角の y 座標	図郭右 上角の x 座標	図郭右 上角の y 座標
----	----	-------	--------	-------	--------	-------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------

- ① FH：ファイルヘッダーレコードであることを表す識別子。“FH”の文字を記載。
- ② 図名：二次メッシュコード（計 6 文字）。
- ③ ファイル名：当該ファイルの名称。
- ④ レコード総数：当該ファイルに含まれるレコードの総数。ファイルヘッダーレコードを含めて数える。
- ⑤ 要素の総数：当該ファイルに含まれる要素の総数。アーク ID レコードの総数と同じ。
- ⑥ 座標系フラグ：座標系を示すフラグ。河川基盤地図データは二次メッシュ単位の正規化座標であるので“2”を記入する。

座標系フラグ

座標系フラグ	意味
1	平面直角座標系
2	二次メッシュごとの正規化座標系

- ⑦ **座標系番号**：座標系フラグが“2”の場合、座標系は1種類に限定されるので、値“1”を入れる。

(2) アーク ID レコード

図式分類コード	線種タグ	個別番号	当該アークを構成する座標レコードの数
---------	------	------	--------------------

- ① **図式分類コード**：河川基盤地図データファイル作成要領第6条第3項で定める図式分類コードを記載する。これは、アーク ID レコードであることを表す“L”（Line）の後に、4桁のコードを付加したものである。
- ② **線種タグ**：通常のアークは“0”とし、道路等の高架、地下の区別、ポリゴンを閉じるために設定する不確実な界線（河口部の海岸線、未定行政界等）等を表現するために用いるタグとして、以下の表から該当するものを記入する。

線種タグ

線種タグ	意 味
0	実際に描画される通常のアークで、他の番号で指定される以外のもの
1	高架（道路線、鉄道等）
2	地下、トンネル部（道路線、鉄道等）
3	橋の下の水涯線、等高線等
4	未確定行政界、河口部の海岸線等ポリゴンを形成するために引かれるが表示されない線（注）
5	図郭にかかるポリゴンを閉じるための図郭辺の一部であるアーク
6	多重連結のポリゴンを表現するために外周と内周の間をつなぐアーク
7	道路の区域の境界線のうち、他の道路面の下を横断する部分のアーク

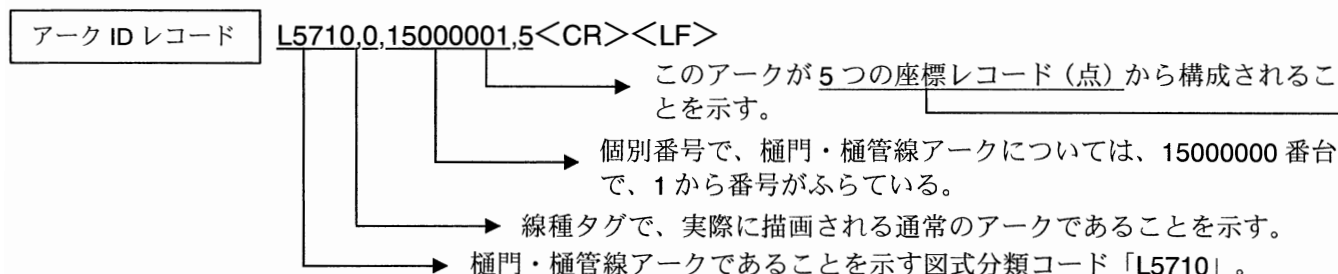
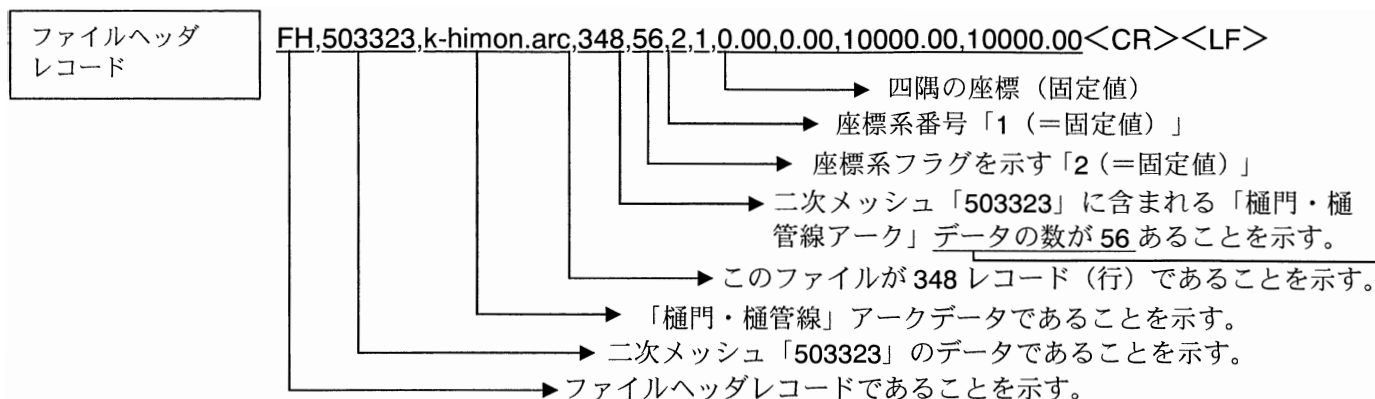
（注）ここで未確定行政界とは、未定あるいは係争中、表現上の誤差等で行政区域境界が不確実な場合のすべてを含む。

- ③ **個別番号**：二次メッシュ中の各アークを区別するための個別番号。1図葉内に含まれるすべてのアークについて、連番で一意的番号を割り当てる（8桁以内で、図式分類コードが異なっても同じ番号を割り当てない）。

(3) 座標レコード

X 座標	y 座標	z 座標
------	------	------

- ① x,y 座標は、すべて二次メッシュ左下角を(0.00,0.00)、右上角を(10,000.00, 10,000.00)とした正規化座標。
- ② 小数点付数字（小数点以下2桁）で表す。
- ③ z 座標は通常は空欄とし、高さ関係の解析が必要な場合等、必要に応じて取得する（メートル単位とし、小数点付数字で表す）。



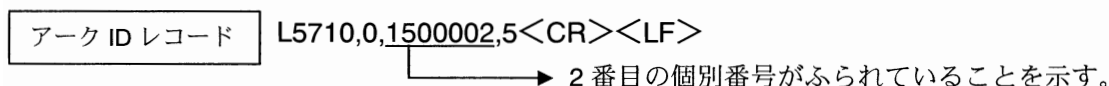
座標レコード 5974.85,5763.17,0.00<CR><LF>

座標レコード 5978.50,5767.36,0.00<CR><LF>

座標レコード 5979.61,5765.92,0.00<CR><LF>

座標レコード 5975.95,5761.70,0.00<CR><LF>

座標レコード 5974.85,5763.17,0.00<CR><LF>



座標レコード 5948.20,5712.27,0.00<CR><LF>

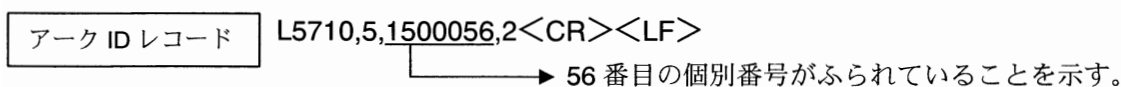
座標レコード 5949.93,5717.25,0.00<CR><LF>

座標レコード 5951.57,5716.31,0.00<CR><LF>

座標レコード 5949.84,5711.35,0.00<CR><LF>

座標レコード 5948.20,5712.27,0.00<CR><LF>

.....



座標レコード 5902.09,0.000,0.00<CR><LF>

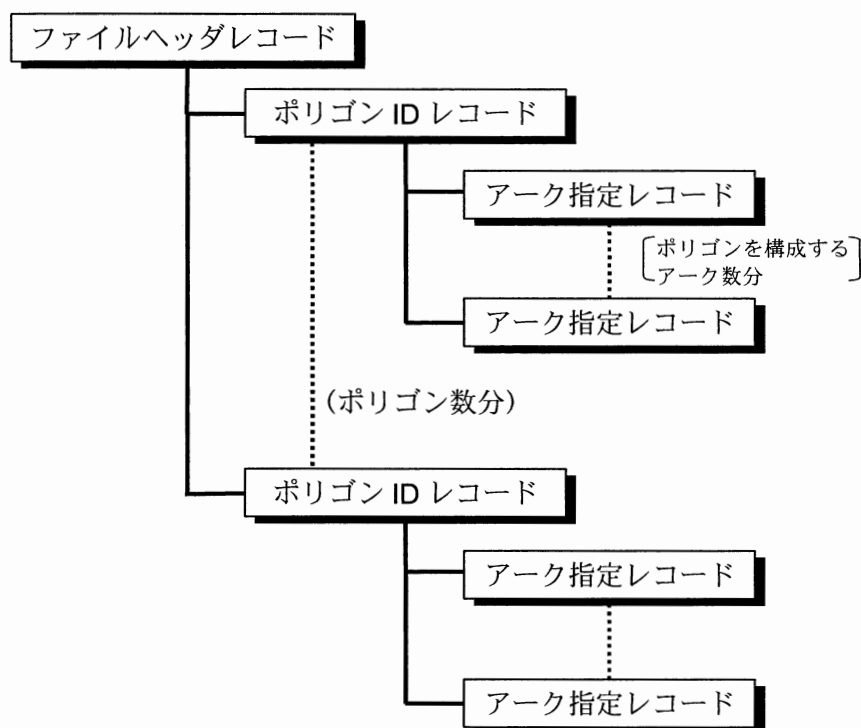
座標レコード 5899.96,0.000,0.00<CR><LF>

記入例：k-himon.arc（樋門・樋管線アーク）

2.4 ポリゴンファイル

ポリゴンファイルは、レイヤーごとに作成する。また、ポリゴン ID レコードは各ポリゴンごとに作成する。アーク指定レコードにはポリゴンを構成するアークの個別番号を記入する。

1) ファイルのレコード構成



2) 各レコードのカラムごとの記載内容

(1) ファイルヘッダレコード

「2.4 アークファイル」のファイルヘッダレコードにおける記載内容と同じ。
要素の総数は、ポリゴン ID レコードの総数と同じ。

(2) ポリゴン ID レコード

図式分類コード	個別番号	当該ポリゴンを構成する アーク指定レコードの数	代表点のx座標	代表点のy座標
---------	------	----------------------------	---------	---------

- ① 図式分類コード：河川基盤地図データファイル作成要領第 6 条第 3 項で定める図式分類コードを記載する。これは、ポリゴン ID レコードであることを表す“A”（Area）の後に 4 桁のレコードを付加したものである。
- ② 個別番号：二次メッシュ中の各ポリゴンを区別するための個別番号。1 図葉内に含まれるすべてのポリゴンについて、連番で一意的番号を割り当てる（8 桁以内で、図式分類コードが異なっても同じ番号を割り当てない）。
- ③ 代表点の x、y 座標：ポリゴン内に含まれる代表点の座標。x、y 座標は、二次メッシュ左下角を（0.00, 0.00）、右上角を（10,000.00, 10,000.00）と

した正規化座標。

(3) アーク指定レコード

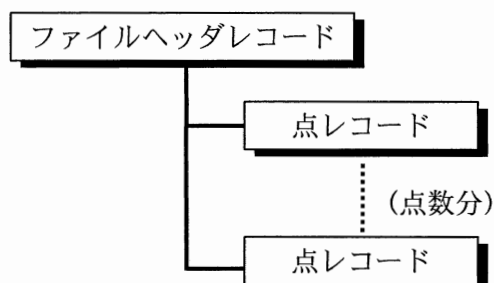
アークの個別番号

- ① ポリゴンを右回りに（当該ポリゴンを右に見て）連続して囲むようにアークを指定する。アークの指定には、アーク ID レコードに記述されている個別番号を用いる。アークの座標点列の向きが、右回りの逆の場合には個別番号にマイナスの符号を付ける。
- ② ポリゴン内部に当該ポリゴンに含まれない領域があるような多重連結構造を表す場合は、ポリゴンの内および外の境界線の間を結ぶ仮のアークを設置し、これを往復することで、一筆書きでこのようなポリゴンを表現する。

2.5 点ファイル

点ファイルは、レイヤーごとに作成する。

1) ファイルのレコード構成



2) 各レコードのカラムごとの記載内容

(1) ファイルヘッダレコード

「2.4 アークファイル」のファイルヘッダレコードにおける記載内容と同じ。
要素の総数は点レコードの総数と同じ。

(2) 点レコード

図式分類コード	個別番号	x 座標	y 座標	z 座標
---------	------	------	------	------

- ① 図式分類コード：河川基盤地図データファイル作成要領第 6 条第 3 項で定める図式分類コードを記載する。これは、点レコードであることを表す“P”（Point）の後に 4 桁のレコードを付加したものである。
- ② 個別番号：二次メッシュ中の各点を区別するための個別番号。1 図葉内に含まれているすべての点について、連番で一意の番号を割り当てる（8 桁以内で、図式分類コードが異なっても同じ番号を割り当てない）。
- ③ x、y 座標はすべて二次メッシュ左下角を（0.00,0.00）、右上角を（10,000.00,

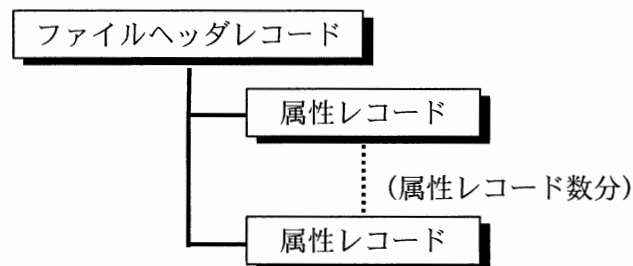
10,000.00) としての正規化座標。

- ④ z 座標は通常は空欄とし、高さ関係の解析が必要な場合等、必要に応じて取得する（メートル単位とし、小数点以下 2 桁で表す）。

2.6 属性ファイル

属性ファイルは、アークファイル、ポリゴンファイル、点ファイルの中で属性データを持つものについて、それぞれ各レイヤーごとに作成する。

1) ファイルのレコード構成



2) 各レコードのカラムごとの記載内容

(1) ファイルヘッダレコード

「2.4 アークファイル」のファイルヘッダレコードにおける記載内容と同じ。
要素の総数は属性レコードの総数と同じ。

(2) 属性レコード

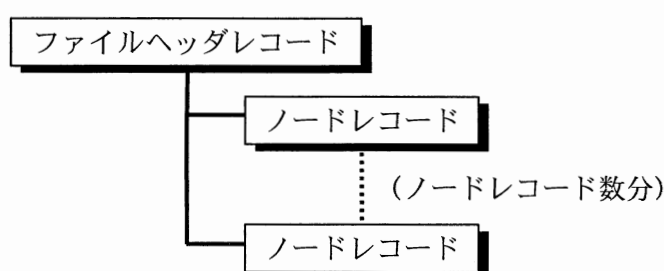
図式分類コード	個別番号	属性数	属性 1	属性 2	...	属性 n
---------	------	-----	------	------	-----	------

- ① 図式分類コードと個別番号で、対応する個別のデータを指定し、第三のカラムに属性数を記載する。第四カラム以降（属性フィールド）に、属性データを記述する。
- ② 属性数は属性を記述するフィールドの総数で、属性フィールドへの記載事項は任意とする。
- ③ 属性ファイルは、レイヤーごとに別ファイルとする。
- ④ 同一フィールド内では、半角文字と全角文字を混在させない。

2.7 ノードファイル

ノードファイルは、アークファイルのうち、河川基図データの「現況堤防表法肩法線」、「現況堤防裏法肩法線」、「現況堤防表法尻法線」、「現況堤防裏法尻法線」、「現況低水路法線」、「河心線」、河川基本主題データの「堤防防護ライン」、「計画堤防表法肩法線」、「計画堤防裏法肩法線」、「計画堤防表法尻法線」、「計画堤防裏法尻法線」、流域背景データの「道路」、「鉄道」、「下水道幹線管路」、「用排水路」、流域基図データの「現況堤防法線」、「河心線」に関するアークについて作成する。

1) ファイルのレコード構成



2) 各レコードのカラムごとの記載内容

(1) ファイルヘッダレコード

「2.4 アークファイル」のファイルヘッダレコードにおける記載内容と同じ。
要素の総数は、ノードレコードの総数と同じ。

(2) ノードレコード

ノード番号	図郭・端点タグ	ノードの x 座標	ノードの y 座標	ノードの z 座標
-------	---------	-----------	-----------	-----------

- ① ノード番号は 1 図葉内で一意の番号を割り当てる（8 桁以内）。
- ② 図郭・端点タグは、ノードが図葉の図郭内または図郭線上に位置する場合および端点（行き止まりとなるノードの終端の点）となる場合を示すもので、番号は以下に規定するものの中から記入する。

同一座標系内の図郭境界での接続・非接続関係を示す図郭・端点タグ

図郭・端点タグ	ノードの位置	図郭・端点タグ	ノードの位置
0	図郭内部（端点以外）	10	図郭内部の端点
1	図郭左上角（端点以外）	11	図郭左上角の端点
2	図郭上辺（端点以外）	12	図郭上辺の端点
3	図郭右上角（端点以外）	13	図郭右上角の端点
4	図郭右辺（端点以外）	14	図郭右辺の端点
5	図郭右下角（端点以外）	15	図郭右下角の端点
6	図郭下辺（端点以外）	16	図郭下辺の端点
7	図郭左下角（端点以外）	17	図郭左下角の端点
8	図郭左辺（端点以外）	18	図郭左辺の端点

座標系の境界での接続・非接続関係を示す図郭・端点タグ

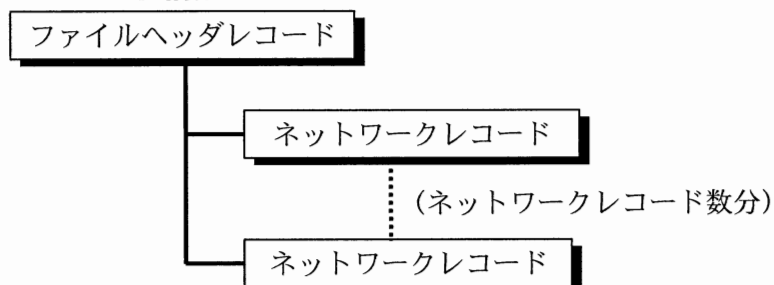
図郭・端点タグ	ノードの位置	図郭・端点タグ	ノードの位置
20	境界線(図郭線との交点以外) (端点以外)	30	境界線(図郭線との交点以外)の端点
21	境界線かつ図郭左上角 (端点以外)	31	境界線かつ図郭左上角の端点
22	境界線と図郭上辺の交点 (端点以外)	32	境界線と図郭上辺の交点の端点
23	境界線かつ図郭右上角 (端点以外)	33	境界線かつ図郭右上角の端点
24	境界線かつ図郭右辺の交点 (端点以外)	34	境界線と図郭右辺の交点の端点
25	境界線かつ図郭右下角 (端点以外)	35	境界線かつ図郭右下角の端点
26	境界線と図郭下辺の交点 (端点以外)	36	境界線と図郭下辺の交点の端点
27	境界線と図郭左下角 (端点以外)	37	境界線かつ図郭左下角の端点
28	境界線と図郭左辺の交点 (端点以外)	38	境界線と図郭左辺の交点の端点

- ③ z 座標は通常は空欄とし、高さ関係の解析が必要な場合等、必要に応じて取得する（メートル単位とし、小数点付数字で表す）。

2.8 ネットワークファイル

ネットワークファイルは、ノードをもつレイヤーごとにアークの始点、終点を記入する。

1) ファイルのレコード構成



2) 各レコードのカラムごとの記載内容

(1) ファイルヘッダレコード

「2.4 アークファイル」のファイルヘッダレコードにおける記載内容と同じ。
要素の総数は、ネットワークレコードの総数と同じ。

(2) ネットワークレコード

アークの個別番号	始点ノード番号	終点ノード番号
----------	---------	---------

- ① 道路は始点から終点に向かって記載する。それ以外は、下流から上流に向かって記載する（支川の場合は、合流点を始点とし、派川の場合は分流点を終点とする）。

2.9 メッシュファイル

メッシュファイルは、二次メッシュごとに作成する。

1) ファイルのレコード構成

メッシュファイルヘッダレコード

メッシュファイル属性レコード

(メッシュデータ数分)

メッシュファイル属性レコード

2) 各レコードのカラムごとの記載内容

(1) メッシュファイルヘッダーレコード

MH	図名	ファイル名	レコード総数	メッシュデータ種別	図郭左下 角の x 座標	図郭左下 角の y 座標	図郭左上 角の x 座標	図郭左上 角の y 座標	図郭右上 角の x 座標	図郭右上 角の y 座標	図郭右下 角の x 座標	図郭右下 角の y 座標
----	----	-------	--------	-----------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------

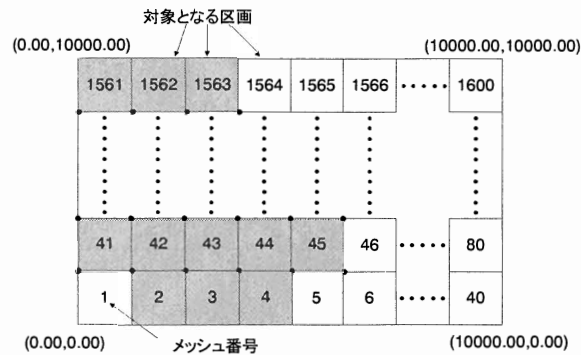
x 方向メ ッ シュ 分割数	y 方向メ ッ シュ分 割数	属 性 フィ ールドの 総数	属 性 フィ ールド 1 の属性名	属 性 フィ ールド 2 の属性名	...
----------------------	----------------------	----------------------	-------------------------	-------------------------	-----

- ① **MH**：メッシュデータファイルヘッダーレコードであることを表す識別子。
“MH”の文字を記載。
- ② **図名**：二次メッシュコード（計 6 文字）。
- ③ **ファイル名**：当該ファイルの名称。
- ④ **レコード総数**：当該ファイルに含まれるレコードの総数。メッシュファイルヘッダーレコードを含めて数える。
- ⑤ **メッシュデータ種別**：二次メッシュを単純分割している場合は“0”とする。
メッシュデータの四隅が二次メッシュと対応していない場合は“1”とし、
四隅の x、y 座標値を入力する。この際の座標値は緯度、経度で入力を行い、
秒の値は小数点付数字で表す。
- ⑥ **メッシュ分割数**：x 方向と y 方向のメッシュ分割数を入力する（整数値）。
- ⑦ **属性フィールドの総数**：属性フィールドの総数。
- ⑧ **属性フィールドの属性名**：属性フィールドの属性名および単位。

(2) メッシュファイル属性レコード

図式分類コード	メッシュ番号	属性 1	属性 2	...	属性 n
---------	--------	------	------	-----	------

- ① 図式分類コードとメッシュ番号で、個別のメッシュを指定し、第三フィールド以降に属性を記述する。
- ② メッシュ番号は下図のように、左下隅から 1、2、3…とし、右上隅が（x 方向メッシュ分割数）×（y 方向メッシュ分割数）となるようにする。



- ③ 同一フィールド内では、半角文字と全角文字を混在させない。

第3章 属性データの入力フォーマット

種別で F は実数、I は整数、N は文字、桁数は小数点以下の桁数、内容の [] は記入例

	レイヤー名	属性フィールド	単位	種別	桁数	内 容
河川図	河川背景データ	等高線	等高線標高	cm	F 1	デジタルマッピング取得分類基準に準拠
		標高点	地点標高	cm	F 1	デジタルマッピング取得分類基準に準拠
		斜面線	斜面線種別コード	I		
		斜面	斜面種別コード	I		
		人造物線	人造物コード	I		
		人造物	人造物コード	I		
		鉄道	名称	N		[〇〇電鉄]
			鉄道種別コード	I		
		地目記号	地目コード	I		
		橋梁	名称	N		[△△高速道路××橋梁]
			橋梁種別コード	I		橋梁種別コード
			河川コード	I		
		水涯線	水部領域コード	I		
			左右岸コード	I		
			河川コード	I		
	河川基図データ	水部	河川コード	I		
		行政界線	行政界線コード	I		
		行政界	市町村コード	I		
		距離標	名称	km	F 2	[〇〇.〇]
			左右岸コード	I		
			追加距離	km	F 3	
			河川コード	I		
		測線	名称	F	2	[〇〇.〇]
			追加距離	km	F 3	
			河川コード	I		
		低水路杭	名称	km	F 2	
			左右岸コード	I		
			追加距離	km	F 3	
			河川コード	I		
		現況堤防表 法肩法線	堤防種別コード	I		
			堤防構造コード	I		
			河道側領域コード	I		
			左右岸コード	I		
			河川コード	I		
		現況河道	河川コード	I		
		現況堤防裏 法肩法線	堤防種別コード	I		
			堤防構造コード	I		
			河道側領域コード	I		
			左右岸コード	I		
			河川コード	I		
		現況堤防表 法尻法線	堤防種別コード	I		
			堤防構造コード	I		
			河道側領域コード	I		
			左右岸コード	I		
			河川コード	I		
		現況堤防裏 法尻法線	堤防種別コード	I		
			堤防構造コード	I		
			河道側領域コード	I		
			左右岸コード	I		
			河川コード	I		
		現況低水路 法線	低水路側領域コード	I		
			左右岸コード	I		
			河川コード	I		
		現況低水路	河川コード	I		
		河心線	流下方向指示コード	I		
			下流端コード	I		
			上流端コード	I		
			河川コード	I		

Fは実数、Iは整数、Nは文字、桁数は小数点以下の桁数、内容の[]は記入例

	レイヤー名	属性フィールド	単位	種別	桁数	内 容
河川図	河川区域境界線	左右岸コード		I		
		河川コード		I		
	河川区域	河川区域コード		I		
		河川コード		I		
	河川基本主題データ	水位観測所 名称		N		[〇〇水位観測所]
		観測所コード		I		
		左右岸コード		I		
		追加距離	km	F	3	
		観測種別コード		I		
		管理所管コード		I		
		設置年月日		I		[19XX0401] (西暦表示、日付不明の場合下2ケタは00)
		河川コード		I		
	流量観測所	名称		N		[〇〇流量観測所]
		観測所コード		I		
		左右岸コード		I		
		追加距離	km	F	3	
		観測種別コード		I		
		管理所管コード		I		
		設置年月日		I		[19XX0401] (西暦表示、日付不明の場合下2ケタは00)
		河川コード		I		
	水質観測所	名称		N		[〇〇水質観測所]
		観測所コード		I		
		左右岸コード		I		
		追加距離	km	F	3	
		観測種別コード		I		
		管理所管コード		I		
		設置年月日		I		[19XX0401] (西暦表示、日付不明の場合下2ケタは00)
		河川コード		I		
	堤防防護ライン	堤防防護ラインコード		I		
		低水路側領域コード		I		
		左右岸コード		I		
		河川コード		I		
	計画低水路法線	低水路側領域コード		I		
		左右岸コード		I		
		河川コード		I		
	計画低水路	河川コード		I		
	高水敷状況境界線	左右岸コード		I		
		河川コード		I		
	高水敷状況	高水敷コード		I		
		左右岸コード		I		
		河川コード		I		
	計画堤防表法肩法線	堤防種別コード		I		
		堤防構造コード		I		
		河道側領域コード		I		
		左右岸コード		I		
		河川コード		I		
	計画河道	河川コード		I		
	計画堤防裏法肩法線	堤防種別コード		I		
		堤防構造コード		I		
		河道側領域コード		I		
		左右岸コード		I		
		河川コード		I		
	計画堤防表法尻法線	堤防種別コード		I		
		堤防構造コード		I		
		河道側領域コード		I		
		左右岸コード		I		
		河川コード		I		

Fは実数、Iは整数、Nは文字、桁数は小数点以下の桁数、内容の[]は記入例

		レイヤー名	属性フィールド	単位	種別	桁数	内 容
河川図	河川基本主題データ	計画堤防裏法 尻法線	堤防種別コード		I		
			堤防構造コード		I		
			河道側領域コード		I		
			左右岸コード		I		
			河川コード		I		
		護岸	施設名		N		
			管理所管		N		[国土交通省△△工事事務所]
			目的		N		
			完成年月		I		[19XX04] (西暦表示、月不明の場合下2ケタは00)
			護岸構造コード		I		
			護岸種別コード1		I		
			護岸種別コード2		I		
			左右岸コード		I		
			河川コード		I		
		水制	施設名		N		
			管理所管		N		[国土交通省△△工事事務所]
			目的		N		
			完成年月		I		[19XX04] (西暦表示、月不明の場合下2ケタは00)
			水制種別コード		I		
			左右岸コード		I		
		樋門・樋管	施設名		N		
			追加距離	km	F	3	
			管理所管		N		[国土交通省△△工事事務所]
			目的		N		
			完成年月		I		[19XX04] (西暦表示、月不明の場合下2ケタは00)
			左右岸コード		I		
		水門・閘門	施設名		N		
			追加距離	km	F	3	
			管理所管		N		[国土交通省△△工事事務所]
			目的		N		
			完成年月		I		[19XX04] (西暦表示、月不明の場合下2ケタは00)
			左右岸コード		I		
		堰	施設名		N		
			追加距離	km	F	3	
			管理所管		N		[国土交通省△△工事事務所]
			目的		N		
			完成年月		I		[19XX04] (西暦表示、月不明の場合下2ケタは00)
			河川コード		I		
		機場	施設名		N		
			追加距離	km	F	3	
			管理所管		N		[国土交通省△△工事事務所]
			目的		N		
			完成年月		I		[19XX04] (西暦表示、月不明の場合下2ケタは00)
			河川コード		I		
		伏せ越し	施設名		N		
			追加距離	km	F	3	
			管理所管		N		[国土交通省△△工事事務所]
			目的		N		
			完成年月		I		[19XX04] (西暦表示、月不明の場合下2ケタは00)
			河川コード		I		
		床止め	施設名		N		
			追加距離	km	F	3	
			管理所管		N		[国土交通省△△工事事務所]
			目的		N		
			完成年月		I		[19XX04] (西暦表示、月不明の場合下2ケタは00)
			河川コード		I		

Fは実数、Iは整数、Nは文字、桁数は小数点以下の桁数、内容の[]は記入例

		レイヤー名	属性フィールド	単位	種別	桁数	内 容
河川図	河川基本主題データ	救急内水ポンプ	施設名		N		
			追加距離	km	F	3	
			管理所管		N		[国土交通省△△工事事務所]
			目的		N		
			完成年月		I		[19XX04] (西暦表示、月不明の場合下2ケタは00)
			河川コード		I		
		現況縦横断	距離標	km	F	2	[〇〇.〇]
			区間距離	km	F	3	
			最深河床高	m	F	3	
			平均河床高	m	F	3	
			現況堤防高	m	F	3	
			測量年月日		I		[19XX0401] (西暦表示、日付不明の場合下2ケタは00)
			河川コード		I		
		計画縦横断	距離標	km	F	2	[〇〇.〇]
			区間距離	km	F	3	
			低水路平均河床高	m	F	3	
			H.W.L.	m	F	3	
			計画堤防高	m	F	3	
			計画高水流量	m ³ /s	F	3	
			河川コード		I		

Fは実数、Iは整数、Nは文字、桁数は小数点以下の桁数、内容の[]は記入例

		レイヤー名	属性フィールド	単位	種別	桁数	内 容
流域図	流域背景データ	等高線	等高線標高	cm	F	1	2万5千分の1地形図ベクトルデータに準拠
		標高点	地点標高	cm	F	1	2万5千分の1地形図ベクトルデータに準拠
		行政界線	行政界線コード		I		
		行政界	市町村コード		I		
		海岸線	海側領域コード		I		
		湖沼区域	河川コード		I		
		境界線	水部領域コード		I		
		湖沼区域	名称		N		[△△湖]
			河川コード		I		
		道路	路線名		N		[国道○号線]
			道路種別コード		I		
		鉄道	河川背景データ「鉄道」に同じ				
		下水道幹線管路	幹線名		N		[△△川幹線]
			管渠種別コード		I		
			管理者名		N		[○○県下水道部]
		用排水路	名称		N		[○○かんがい地区△△用水路]
			用排水種別コード		I		
			管理者名		N		[××土地改良区]
		公共建物	名称		N		
			公共建物分類コード		I		
		公共空間	名称		N		
			公共空間コード		I		
	流域基図データ	距離標	河川其図データ「距離標」に同じ				
		測線	河川其図データ「測線」に同じ				
		現況堤防法線	堤防種別コード		I		
			堤防構造コード		I		
			河道側領域コード		I		
			左右岸コード		I		
			河川コード		I		
		現況河道	河川コード		I		
		河心線	流下方向指示コード		I		
			下流端コード		I		
			上流端コード		I		
			河川コード		I		
		流域界	河川コード		I		
		ダム位置	名称		N		[△△ダム]
			管理所管コード		I		
			河川コード		I		
			目的		N		[FNP]
		ダム湛水域境界線	河川コード		I		
			水部領域コード		I		
		ダム湛水域	名称		N		[○○湖]
			河川コード		I		
		事務所	名称		N		[国土交通省□□工事事務所]
			住所		N		[○○県△△市…]
		出張所	名称		N		[国土交通省□□工事事務所△△出張所]
			住所		N		[○○県××市…]

Fは実数、Iは整数、Nは文字、桁数は小数点以下の桁数、内容の[]は記入例

		レイヤー名	属性フィールド	単位	種別	桁数	内 容
流域図	流域基本主題データ	雨量観測所	名称		N		[国土交通省〇〇雨量観測所、気象庁××観測所]
			観測所コード		I		
			観測種別コード		I		
			住所		N		[〇〇県△△市…]
			管理所管コード		I		
			設置年月日		I		[19XX0401] (西暦表示、日付不明の場合下2ケタは00)
		水位観測所	河川基本主題データ「水位観測所」に同じ				
		流量観測所	河川基本主題データ「流量観測所」に同じ				
		水質観測所	河川基本主題データ「水質観測所」に同じ				
		貯留・浸透施設	名称		N		
			貯留・浸透種別コード		I		
			能力		N		
			所管		N		
		重要水防箇所	評定種別コード		I		
			重要度コード		I		
			左右岸コード		I		
			下流側追加距離	km	F	3	
			上流側追加距離	km	F	3	
			調査年月		I		[19XX04] (西暦表示、月不明の場合下2ケタは00)
		実績氾濫区域 境界線	洪水名		N		[昭和〇年〇月〇日洪水]
			河川コード		I		
		実績氾濫区域	洪水名		N		
			河川コード		I		
		想定氾濫区域 境界線	氾濫条件		N		
			河川コード		I		
		想定氾濫区域	氾濫条件		N		
			河川コード		I		
		想定氾濫区域 メッシュ	湛水深	m	F	3	
			メッシュ番号		I		[二次メッシュを分割した際のメッシュ番号]
			氾濫条件		N		
			河川コード		I		
		直轄砂防区域 境界線	河川コード		I		
			砂防区域コード		I		
		直轄砂防区域	山系名称		N		[△△山系]
			河川コード		I		
		空間ゾーン 境界線	左右岸コード		I		
			河川コード		I		
		空間ゾーン	空間ゾーンコード		I		
			左右岸コード		I		
			河川コード		I		

第4章 各データのファイル名

1) レイヤー管理ファイル

ファイル名	データの内容
○○○.ctl	レイヤー管理ファイル（○○○は水系名が入る）

2) 図葉ファイル

	ファイル名	データの内容
	△△△△△.txt	図葉記述ファイル（△△△は二次メッシュ番号が入る）
河川図	k-tokose.arc	等高線アーク
	k-tokose.atr	等高線アーク属性
	k-hyoko.pnt	標高点
	k-hyoko.atr	標高点属性
	k-shase.arc	斜面線アーク
	k-shase.atr	斜面線アーク属性
	k-shame.pgn	斜面ポリゴン
	k-shame.atr	斜面ポリゴン属性
	k-jinse.arc	人造物線アーク
	k-jinse.atr	人造物線アーク属性
	k-jinzo.pgn	人造物ポリゴン
	k-jinzo.atr	人造物ポリゴン属性
	k-load.arc	道路アーク
	k-teload.arc	庭園路アーク
	k-toload.arc	徒歩道アーク
	k-rload.arc	鉄道アーク
	k-rload.atr	鉄道アーク属性
	k-futate.arc	普通建物線アーク
	k-futate.pgn	普通建物ポリゴン
	k-ketate.arc	堅ろう建物線アーク
	k-ketate.pgn	堅ろう建物ポリゴン
	k-muheki.arc	無壁舎線アーク
	k-muheki.pgn	無壁舎ポリゴン
	k-chimo.arc	地目境界線アーク
	k-chimo.pnt	地目記号
	k-chimo.atr	地目記号属性
	k-kyoryo.arc	橋梁アーク
	k-kyoryo.atr	橋梁アーク属性
	k-suigai.arc	水涯線アーク
	k-suigai.atr	水涯線アーク属性
	k-suibu.pgn	水部ポリゴン
	k-suibu.atr	水部ポリゴン属性
	k-gyosen.arc	行政界線アーク
	k-gyosen.atr	行政界線アーク属性
	k-gyokai.pgn	行政界ポリゴン
	k-gyokai.atr	行政界ポリゴン属性
	k-kirogu.pnt	距離標
	k-kirogu.atr	距離標属性
	k-sokuse.arc	測線アーク
	k-sokuse.atr	測線アーク属性
	k-teikui.pnt	低水路杭
	k-teikui.atr	低水路杭属性
	k-gtb-ok.arc	現況堤防表法肩法線アーク
	k-gtb-ok.nod	現況堤防表法肩法線ノード
	k-gtb-ok.tie	現況堤防表法肩法線ネットワーク
	k-gtb-ok.atr	現況堤防表法肩法線アーク属性
	k-gekado.pgn	現況河道ポリゴン
	k-gekado.atr	現況河道ポリゴン属性
	k-gtb-uk.arc	現況堤防裏法肩法線アーク
	k-gtb-uk.nod	現況堤防裏法肩法線ノード
	k-gtb-uk.tie	現況堤防裏法肩法線ネットワーク
	k-gtb-uk.atr	現況堤防裏法肩法線アーク属性
	k-gtb-oj.arc	現況堤防表法尻法線アーク
	k-gtb-oj.nod	現況堤防表法尻法線ノード
	k-gtb-oj.tie	現況堤防表法尻法線ネットワーク
	k-gtb-oj.atr	現況堤防表法尻法線アーク属性

(つづき)

	ファイル名	データの内容
河川図	k-gtb-uj.arc	現況堤防裏法尻法線アーク
	k-gtb-uj.nod	現況堤防裏法尻法線ノード
	k-gtb-uj.tie	現況堤防裏法尻法線ネットワーク
	k-gtb-uj.atr	現況堤防裏法尻法線アーク属性
	k-gteiho.arc	現況低水路法線アーク
	k-gteiho.nod	現況低水路法線ノード
	k-gteiho.tie	現況低水路法線ネットワーク
	k-gteiho.atr	現況低水路法線アーク属性
	k-getei.pgn	現況低水路ポリゴン
	k-getei.atr	現況低水路ポリゴン属性
	k-kashin.arc	河心線アーク
	k-kashin.nod	河心線ノード
	k-kashin.tie	河心線ネットワーク
	k-kashin.atr	河心線ポリゴン属性
	k-ka-kyo.arc	河川区域等境界線アーク
	k-ka-kyo.atr	河川区域等境界線アーク属性
	k-kkuiki.pgn	河川区域等ポリゴン
	k-kkuiki.atr	河川区域等ポリゴン属性
	k-suii.pnt	水位観測所
	k-suii.atr	水位観測所属性
	k-ryuryo.pnt	流量観測所
	k-ryuryo.atr	流量観測所属性
	k-suishi.pnt	水質観測所
	k-suishi.atr	水質観測所属性
	k-teibou.arc	堤防防護ラインアーク
	k-teibou.nod	堤防防護ラインノード
	k-teibou.tie	堤防防護ラインネットワーク
	k-teibou.atr	堤防防護ラインアーク属性
	k-keiteh.arc	計画低水路法線アーク
	k-keiteh.atr	計画低水路法線アーク属性
	k-keitei.pgn	計画低水路ポリゴン
	k-keitei.atr	計画低水路ポリゴン属性
	k-koukyo.arc	高水敷状況境界線アーク
	k-koukyo.atr	高水敷状況境界線アーク属性
	k-kousui.pgn	高水敷状況ポリゴン
	k-kousui.atr	高水敷状況ポリゴン属性
	k-ktb-ok.arc	計画堤防表法肩法線アーク
	k-ktb-ok.nod	計画堤防表法肩法線ノード
	k-ktb-ok.tie	計画堤防表法肩法線ネットワーク
	k-ktb-ok.atr	計画堤防表法肩法線アーク属性
	k-kekado.pgn	計画河道ポリゴン
	k-kekado.atr	計画河道ポリゴン属性
	k-ktb-uk.arc	計画堤防裏法肩法線アーク
	k-ktb-uk.nod	計画堤防裏法肩法線ノード
	k-ktb-uk.tie	計画堤防裏法肩法線ネットワーク
	k-ktb-uk.atr	計画堤防裏法肩法線アーク属性
	k-ktb-oj.arc	計画堤防表法尻法線アーク
	k-ktb-oj.nod	計画堤防表法尻法線ノード
	k-ktb-oj.tie	計画堤防表法尻法線ネットワーク
	k-ktb-oj.atr	計画堤防表法尻法線アーク属性
	k-ktb-uj.arc	計画堤防裏法尻法線アーク
	k-ktb-uj.nod	計画堤防裏法尻法線ノード
	k-ktb-uj.tie	計画堤防裏法尻法線ネットワーク
	k-ktb-uj.atr	計画堤防裏法尻法線アーク属性
	k-gogan.arc	護岸線アーク
	k-gogan.pgn	護岸ポリゴン
	k-gogan.atr	護岸ポリゴン属性
	k-suisei.arc	水制線アーク
	k-suisei.pgn	水制ポリゴン
	k-suisei.atr	水制ポリゴン属性
	k-himon.arc	樋門・樋管線アーク
	k-himon.pgn	樋門・樋管ポリゴン
	k-himon.atr	樋門・樋管ポリゴン属性
	k-suimon.arc	水門・閘門線アーク
	k-suimon.pgn	水門・閘門ポリゴン
	k-suimon.atr	水門・閘門ポリゴン属性

(つづき)

	ファイル名	データの内容
河 川 図	k-seki.arc	堰線アーク
	k-seki.pgn	堰ポリゴン
	k-seki.atr	堰ポリゴン属性
	k-kijo.arc	機場線アーク
	k-kijo.pgn	機場ポリゴン
	k-kijo.atr	機場ポリゴン属性
	k-fuseko.arc	伏せ越し線アーク
	k-fuseko.pgn	伏せ越しポリゴン
	k-fuseko.atr	伏せ越しポリゴン属性
	k-tokodo.arc	床止め線アーク
	k-tokodo.pgn	床止めポリゴン
	k-tokodo.atr	床止めポリゴン属性
	k-kyunai.arc	救急内水ポンプ線アーク
	k-kyunai.pgn	救急内水ポンプポリゴン
	k-kyunai.atr	救急内水ポンプポリゴン属性
	k-genju.arc	現況縦横断
	k-genju.atr	現況縦横断属性
	k-keiju.arc	計画縦横断
	k-keiju.atr	計画縦横断属性

(つづき)

	ファイル名	データの内容
流域図	r-tokose.arc	等高線アーク
	r-tokose.atr	等高線アーク属性
	r-hyoko.pnt	標高点
	r-hyoko.atr	標高点属性
	r-gyosen.arc	行政界線アーク
	r-gyosen.atr	行政界線アーク属性
	r-gyokai.pgn	行政界ポリゴン
	r-gyokai.atr	行政界ポリゴン属性
	r-kaigan.arc	海岸線アーク
	r-kaigan.atr	海岸線アーク属性
	r-koshok.arc	湖沼区域境界線アーク
	r-koshok.atr	湖沼区域境界線アーク属性
	r-kosho.pgn	湖沼区域ポリゴン
	r-kosho.atr	湖沼区域ポリゴン属性
	r-load.arc	道路アーク
	r-load.nod	道路ノード
	r-load.tie	道路ネットワーク
	r-load.atr	道路アーク属性
	r-rload.arc	鉄道アーク
	r-rload.nod	鉄道ノード
	r-rload.tie	鉄道ネットワーク
	r-rload.atr	鉄道アーク属性
	r-gesui.arc	下水道幹線管路アーク
	r-gesui.nod	下水道幹線管路ノード
	r-gesui.tie	下水道幹線管路ネットワーク
	r-gesui.atr	下水道幹線管路アーク属性
	r-youhai.arc	用排水路アーク
	r-youhai.nod	用排水路ノード
	r-youhai.tie	用排水路ネットワーク
	r-youhai.atr	用排水路アーク属性
	r-kotate.pnt	公共建物
	r-kotate.atr	公共建物属性
	r-kokuse.arc	公共空間線アーク
	r-kokyok.pgn	公共空間ポリゴン
	r-kokyok.atr	公共空間ポリゴン属性
	r-kirogu.pnt	距離標
	r-kirogu.atr	距離標属性
	r-sokuse.arc	測線アーク
	r-sokuse.atr	測線属性
	r-gentei.arc	現況堤防法線アーク
	r-gentei.nod	現況堤防法線ノード
	r-gentei.tie	現況堤防法線ネットワーク
	r-gentei.atr	現況堤防法線アーク属性
	r-genkad.pgn	現況河道ポリゴン
	r-genkad.atr	現況河道ポリゴン属性
	r-kashin.arc	河心線アーク
	r-kashin.nod	河心線ノード
	r-kashin.tie	河心線ネットワーク
	r-kashin.atr	河心線アーク属性
	r-ryukai.arc	流域界線アーク
	r-ryuiki.pgn	流域界ポリゴン
	r-ryuiki.atr	流域界ポリゴン属性
	r-damich.pnt	ダム位置
	r-damich.atr	ダム位置属性
	r-damtak.arc	ダム湛水域境界線アーク
	r-damtak.atr	ダム湛水域境界線アーク属性
	r-damtan.pgn	ダム湛水域ポリゴン
	r-damtan.atr	ダム湛水域ポリゴン属性
	r-jimush.pnt	事務所
	r-jimush.atr	事務所属性
	r-shucho.pnt	出張所
	r-shucho.atr	出張所属性
	r-uryo.pnt	雨量観測所
	r-uryo.atr	雨量観測所属性

(つづき)

	ファイル名	データの内容
流域図	r-suii.pnt	水位観測所
	r-suii.atr	水位観測所属性
	r-ryuryo.pnt	流量観測所
	r-ryuryo.atr	流量観測所属性
	r-suishi.pnt	水質観測所
	r-suishi.atr	水質観測所属性
	r-shinto.arc	貯留・浸透施設線アーク
	r-shinto.pgn	貯留・浸透施設線ポリゴン
	r-shinto.atr	貯留・浸透施設線ポリゴン属性
	r-jusui.arc	重要水防箇所アーク
	r-jusui.atr	重要水防箇所アーク属性
	r-jihanl.arc	実績氾濫区域境界線アーク
	r-jihanl.atr	実績氾濫区域境界線アーク属性
	r-jihan.pgn	実績氾濫区域ポリゴン
	r-jihan.atr	実績氾濫区域ポリゴン属性
	r-sohanl.arc	想定氾濫区域境界線アーク
	r-sohanl.atr	想定氾濫区域境界線アーク属性
	r-sohan.pgn	想定氾濫区域ポリゴン
	r-sohan.atr	想定氾濫区域ポリゴン属性
	r-saboku.arc	直轄砂防区域境界線アーク
	r-saboku.atr	直轄砂防区域境界線アーク属性
	r-sabo.pgn	直轄砂防区域ポリゴン
	r-sabo.atr	直轄砂防区域ポリゴン属性
	r-kzonel.arc	空間ゾーン境界線アーク
	r-kzonel.atr	空間ゾーン境界線アーク属性
	r-kzone.pgn	空間ゾーンポリゴン
	r-kzone.atr	空間ゾーンポリゴン属性
	r-sohan.msh	想定氾濫区域メッシュデータ